

飯田市再生可能エネルギーの導入による持続可能な地域づくりに関する条例
令和7年度 地域公共再生可能エネルギー活用事業報告会 次第

日時：令和8年3月25日（水）15:00～17:00

場所：飯田市役所C311～312 会議室

1 開会

2 あいさつ

3 認定事業報告 【資料 No. 3】

(1) 認定第 4 号 丘づくり・市民共同発電所プロジェクト 2014 P9

(2) 認定第 6 号 龍江四区コミュニティ消防センター太陽光発電設備設置事業 P13

(3) 認定第 13 号 ハートヒル川路太陽光発電再生可能エネルギー活用事業 P25

(4) 認定第 24 号 座光寺地区公共施設太陽光発電再生可能エネルギー活用事業 P47

4 意見交換

5 飯田市再生可能エネルギー導入支援審査会による全体講評

6 閉会

～ 閉会后、意見交換会 ～ 会場：職員会館

<配布資料>

【資料 No. 1】飯田市再生可能エネルギー導入支援審査会 委員名簿

【資料 No. 2】地域公共再生可能エネルギー活用事業認定一覧

【資料 No. 3】認定事業報告資料

飯田市再生可能エネルギー導入支援審査会 委員名簿

敬称略

竹ヶ原 啓介 政策研究大学院大学 教授

中島 大 全国小水力利用推進協議会 事務局長

水上 貴央 Socio Forward 株式会社 代表取締役／弁護士

長谷川 隆三 株式会社フロントヤード 代表取締役

上沼 俊彦 しんきん南信州地域研究所 主任研究員

前田 剛彦 一般財団法人長野経済研究所 専務理事

櫻井 克明 中部電力パワーグリッド株式会社飯田支社
地域統括室 課長

飯田市再生可能エネルギー活用事業認定一覧

◎ = 事業報告

認定番号	事業名	事業者	発表
第1号	駄科区メガさんぽおひさま発電所プロジェクト 2013	駄科区／おひさまグリッド4株式会社	
第2号	飯田山本おひさま広場整備事業	山本地域づくり委員会／王子マテリア株式会社／株式会社シーエナジー／おひさま進歩エネルギー株式会社	
第3号	杵原学校多目的ホール太陽光発電設備設置事業	山本地域づくり委員会／おひさま進歩エネルギー株式会社	
第4号	丘づくり・市民共同発電プロジェクト 2014	竜丘地域自治会	◎
第5号	久米会館・さくら保育園久米分園太陽光発電設備設置事業	久米区会／おひさまグリッド5株式会社	
第6号	龍江四区コミュニティ消防センター太陽光発電設備設置事業	龍江四区地域づくり委員会／エルコンパスイプサ 有限会社ナカガワ龍峡店	◎
第7号	飯田市今田人形の館太陽光発電設備設置事業	今田人形の館運営委員会／龍江二区地域づくり委員会／今田人形座／おひさまグリッド5株式会社	
第8号	飯田市立旭ヶ丘中学校太陽光発電設備設置事業	旭ヶ丘中学校太陽光発電事業推進協議会／おひさま進歩9号株式会社	
第9号	花の木山本小学校太陽光発電事業	山本地域づくり委員会／おひさま進歩10号株式会社	
第10号	小沢川小水力発電事業	上村まちづくり委員会／かみむら小水力株式会社	
第11号	伊賀良井用水マイクロ水力発電再生可能エネルギー活用事業	飯田市大井井水管理組合／株式会社マルヒ	
第12号	下久堅ふれあい交流館太陽光発電再生可能エネルギー活用事業	下久堅地区まちづくり委員会／エルコンパスイプサ 有限会社ナカガワ龍峡店	
第13号	ハートヒル川路太陽光発電再生可能エネルギー活用事業	川路まちづくり委員会／おひさま進歩エネルギー株式会社	◎
第14号	竜峡共同調理場太陽光発電再生可能エネルギー活用事業	龍江地域づくり委員会／エルコンパスイプサ 有限会社ナカガワ龍峡店	
第15号	千代地区（千代小学校・千栄小学校）太陽光発電再生可能エネルギー活用事業	千代地区まちづくり委員会／株式会社リックス	
第16号	上久堅農村改善センター（上久堅公民館）太陽光発電再生可能エネルギー活用事業	上久堅地区まちづくり委員会／株式会社リックス	
第17号	松尾地区（松尾小学校・松尾公民館）太陽光発電再生可能エネルギー活用事業	松尾地区まちづくり委員会／株式会社リックス	
第18号	川路公民館及び川路小学校太陽光発電再生可能エネルギー活用事業	川路まちづくり委員会／株式会社リックス	
第19号	鼎地区公共施設太陽光発電再生可能エネルギー活用事業	鼎地区まちづくり委員会／株式会社リックス	
第20号	龍江小学校太陽光発電再生可能エネルギー活用事業	龍江地域づくり委員会／エルコンパスイプサ 有限会社ナカガワ龍峡店	
第21号	竜丘小学校太陽光発電再生可能エネルギー活用事業	竜丘地域自治会／株式会社リックス	
第22号	野底川小水力発電再生可能エネルギー活用事業	上郷地域まちづくり委員会／野底川市民発電株式会社	
第23号	南信濃地区公共施設太陽光発電再生可能エネルギー活用事業	南信濃まちづくり委員会／株式会社リックス	
第24号	座光寺地区公共施設太陽光発電再生可能エネルギー活用事業	座光寺地域自治会／株式会社リックス	◎
第25号	持続可能な伊賀良の庄づくりプロジェクト 2024	伊賀良まちづくり協議会／株式会社リックス	
第26号	上村地区公共施設太陽光発電再生可能エネルギー活用事業	上村まちづくり委員会／株式会社リックス	
第27号	上久堅小学校太陽光発電再生可能エネルギー活用事業	上久堅まちづくり委員会／株式会社リックス	

認定第1号

駄科区メガさんぽおひさま発電所プロジェクト2013

- 事業者 駄科区（竜丘）
- 協力事業者 おひさまグリッド4株式会社
- 発電設備 太陽光発電
- 発電箇所 駄科コミュニティ防災センター
- 太陽光発電容量 51.3 kW（パネル容量）
- 発電見込み量 年間 51,312 kWh

申出時点での事業計画

- ① 自立コンセントによる防災機能向上
- ② 地域が行なう環境教育事業への協力

実績等

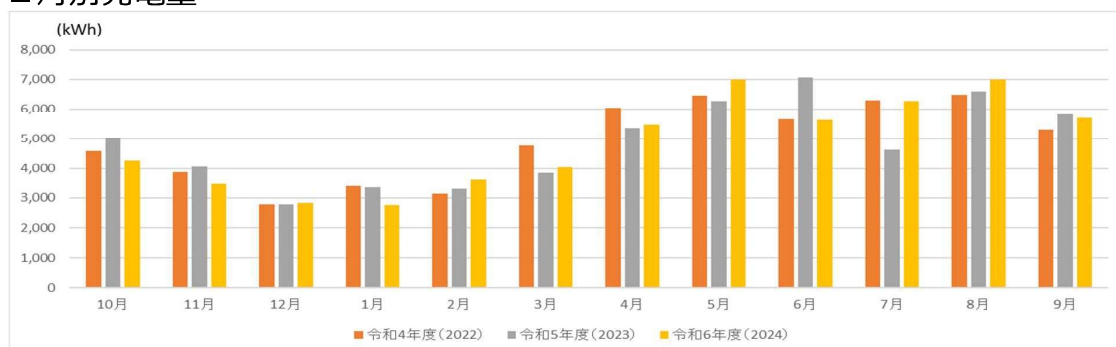
認定第1号
駄科区メガさんぽおひさま発電所プロジェクト2013

- 発電開始日 平成26年6月16日

■ 年別発電量及びCO₂削減量（各年度10月～9月）

令和4年度 58,807 kWh（当初想定：51,312 kWh）…CO₂削減量 26.4 t-CO₂
令和5年度 58,196 kWh（当初想定：51,312 kWh）…CO₂削減量 25.2 t-CO₂
令和6年度 58,070 kWh（当初想定：51,312 kWh）…CO₂削減量 25.5 t-CO₂

■ 月別発電量



- 地域貢献寄付金（定率6%+税） ※発電開始初年度の寄付金は翌年分と合算。年度は支払い年度を示す。

平成27年度：168,290円	令和元年度：132,907円	令和5年度：129,375円
平成28年度：136,622円	令和2年度：130,214円	令和6年度：128,031円
平成29年度：132,728円	令和3年度：126,489円	令和7年度：127,754円
平成30年度：131,490円	令和4年度：130,845円	

寄付金を鈴岡城址公園の活性化へ（継続事業）

活動を通して交流の場に

鈴岡城址公園愛護会協力会、
駄科区組合、高齢者クラブと
の公園整備美化活動



公園管理棟を学びの場に

研修会が
開ける場に

約30人程度が入
れる部屋を活用



写真パネルの
展示

公園の歴史等を学
べるように写真を大
きなパネルにし展示
(約30枚)



活動を行っているうえでの困りごとや今後の展開について

①鈴岡城址公園の整備と活用

- ・ 樹木が茂り景観が悪くなっており、樹木や竹林の整備。
- ・ 区民、市民の憩いの場としての活用。
- ・ 長野県の史跡として保存し、学習活動に利用。

②駄科区民センターの充実

- ・ 防災センターとしての施設の充実。
- ・ 区民が利用しやすい施設として整備。

会計報告 ※以下の会計については、事業専用の会計として管理しています。

■収入の部

前年度繰越金	38,251円
今年度地域貢献寄付金	127,754円
合計	166,005円

■支出の部

鈴岡公園整備美化活動	80,000円
区民センター環境整備費	70,000円
合計	150,000円

■収支

収入の部 166,005円 — 支出の部 150,000円 = 16,005円

認定第2号

飯田山本おひさま広場整備事業

- 事業者 山本地域づくり委員会
- 協力事業者 おひさまグリッド5株式会社
- 発電設備 太陽光発電
- 発電箇所 飯田山本おひさま広場
- 太陽光発電容量 52.92 kW
- 発電見込み量 年間 59,287 kWh

申出時点での事業計画

①環境教育・避難用防災広場としての活用

・地域づくり委員会は環境・防災広場事業の実施主体として、山本地区の住民のための環境教育及び災害時の避難広場として維持管理を行う。

②非常用電源設備の利用方法を山本地区住民に周知し、災害時に活用

認定第2号
飯田山本おひさま広場整備事業

実績等

■発電開始日 平成27年3月26日

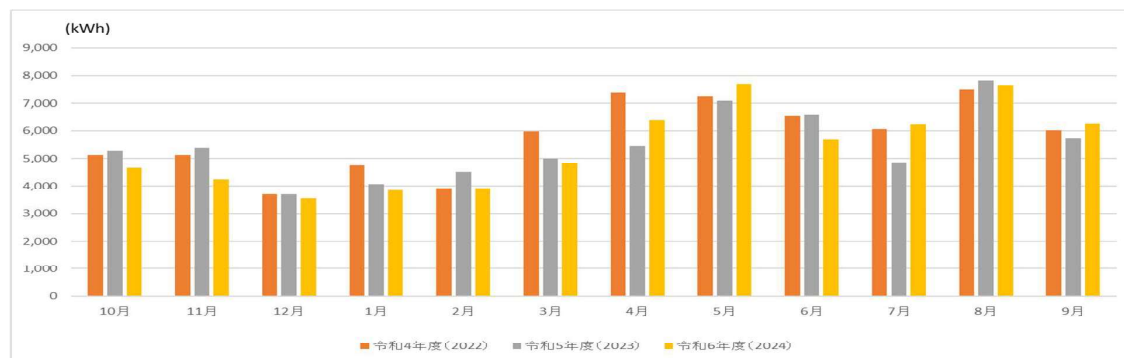
■年別発電量及びCO₂削減量（各年度10月～9月）

令和4年度 69,253kWh（当初想定：59,287 kWh）・・・CO₂削減量 31.1t-CO₂

令和5年度 65,412kWh（当初想定：59,287 kWh）・・・CO₂削減量 28.3t-CO₂

令和6年度 64,900 kWh（当初想定：59,287 kWh）・・・CO₂削減量 28.5t-CO₂

■月別発電量



■地域貢献寄付金（定率4%+税+1万円）

平成28年度：191,050円

令和2年度：125,013円

令和5年度：128,838円

平成29年度：128,204円

令和3年度：122,688円

令和6年度：122,247円

平成30年度：125,153円

令和4年度：124,640円

令和7年度：121,368円

令和元年度：126,132円

※発電開始初年度の寄付金は翌年分と合算。年度は支払い年度を示す。

本事業での最近の活用内容

①さくら保育園園児の遊び



②おひさま広場整備事業

- 地域のみなさんが気持ちよく 利用できるよう、令和7年度から年1回地域住民で草刈り作業を行いました。
- 年間の維持管理は、地元の造園業者に委託しています。

活動を行っているうえでの困りごとや今後の展開について

契約の終了・更新時における設備の所有権の譲渡や撤去費用

- 契約書において、契約期間の末日以降における設備の取り扱いについて、選択によって地域づくり委員会が所有権を譲渡される場合があると思われる。その場合、将来的に設備を撤去するとなった場合、地元でその費用を捻出することは難しい。

会計報告 ※以下の会計については、事業専用の会計として管理しています。(R8.1.31現在)

■収入の部

前年度繰越金	651,328円	
今年度地域貢献寄付金	121,368円	令和7年10月31日受領
その他	40,000円	令和7年6月26日受領
預金利息	476円	
合計	813,172円	

■支出の部

電気料	2,834円	(広場の維持管理経費)
水道料	29,330円	(広場の維持管理経費)
除草芝生管理等委託料	330,000円	(広場の維持管理経費)
合計	362,164円	

■収支

収入の部813,172円 － 支出の部362,164円 ＝ 451,008円

認定第3号

杵原学校多目的ホール太陽光発電設備設置事業

- 事業者 山本地域づくり委員会
- 協力事業者 おひさまグリッド5株式会社
- 発電設備 太陽光発電
- 発電箇所 飯田市山本都市農村交流促進施設（杵原学校）
- 太陽光発電容量 22.8 kW
- 発電見込み量 年間 22,634 kWh

申出時点での事業計画

- ①山本地区住民による再生可能エネルギー利用に関する啓発・環境教育の推進。
- ②非常用電源設備の利用方法を山本地区住民に周知し、災害時に円滑に活用する。

実績等

認定第3号
杵原学校多目的ホール太陽光発電設備設置事業

- 発電開始日 平成27年4月1日

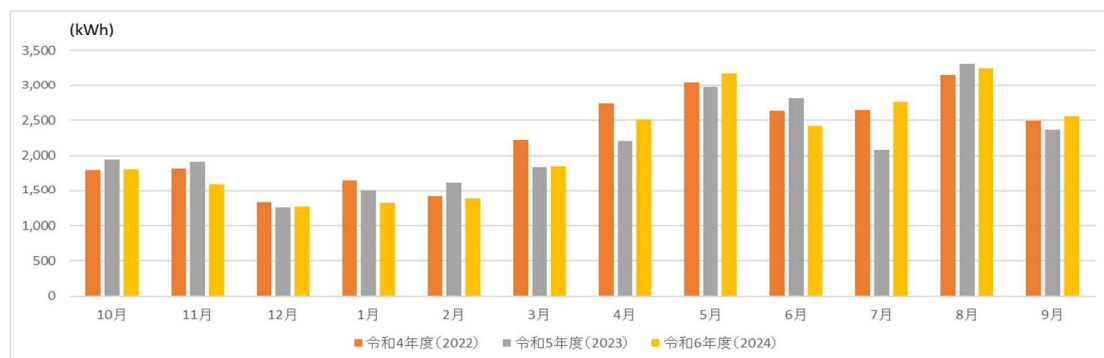
■ 年別発電量及びCO₂削減量（各年度10月～9月）

令和4年度 26,897kWh（当初想定：22,634 kWh）・・・CO₂削減量 12.1t-CO₂

令和5年度 25,811 kWh（当初想定：22,634 kWh）・・・CO₂削減量 11.2t-CO₂

令和6年度 25,850 kWh（当初想定：22,634 kWh）・・・CO₂削減量 11.3t-CO₂

■ 月別発電量



■ 地域貢献寄付金（定率6%+税）

平成28年度：94,926円

令和2年度：59,182円

令和5年度：59,173円

平成29年度：60,318円

令和3年度：57,915円

令和6年度：56,784円

平成30年度：59,238円

令和4年度：58,060円

令和7年度：56,870円

令和元年度：59,795円

※発電開始初年度の寄付金は翌年分と合算。年度は支払い年度を示す。

本事業での最近の活用内容

①夏祭り



②運動会



③おやすづくり



③桜まつり



活動を行っているうえでの困りごとや今後の展開について

契約の終了・更新時における設備の所有権の譲渡や撤去費用

・契約書において、契約期間の末日以降における設備の取り扱いについて、選択によって地域づくり委員会が所有権を譲渡される場合があると思われる。その場合、将来的に設備を撤去するとなった場合、地元でその費用を捻出することは難しい。

会計報告 ※以下の会計については、事業専用の会計として管理しています。(R8.1.31現在)

■収入の部

前年度繰越金	0円	
今年度地域貢献寄付金	56,870円	令和7年10月31日受領
合計	56,870円	

■支出の部

電気料	446,000円	(杵原学校の維持管理経費)
合計	446,000円	

■収支

収入の部56,870円 — 支出の部446,000円 = △389,130円 不足分施設の指定管理料で補填

■補足

協定における寄付金の扱いについて「杵原学校の維持管理費と住民主体の交流事業に要する経費に充てる」となっている。

認定第4号

丘づくり・市民共同発電所プロジェクト2014

- 事業者 竜丘地域自治会
- 協力事業者
- 発電設備 太陽光発電
- 発電箇所 飯田市生涯学習センター（竜丘公民館）
- 太陽光発電容量 12.0 kW
- 発電見込み量 年間 15,200 kWh

申出時点での事業計画

- ①遊休農地の活用、ガーデニング講習会等による良好な景観づくり
- ②竜丘公民館への太陽光発電の設置によるエネルギー自給率の向上
- ③竜丘ふるさと教材「丘のみちしるべ」によるひとづくり
- ④児童自由画資料館建設基金の創設

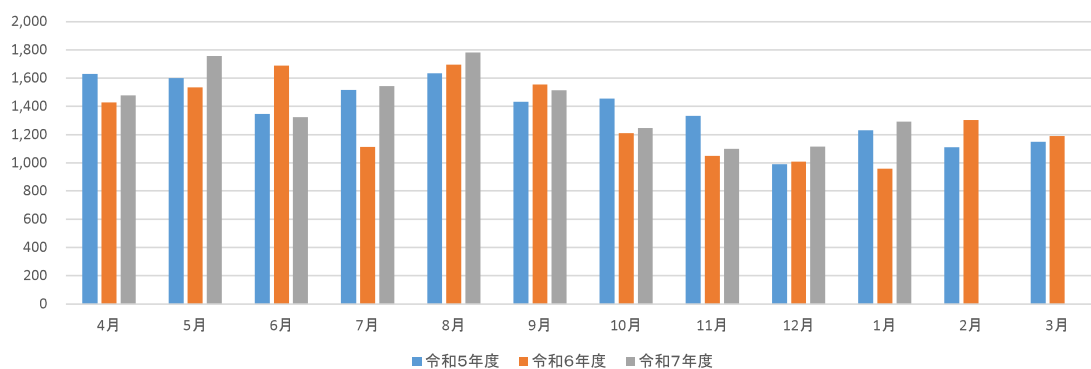
実績等

■ 発電開始日 平成26年4月28日

■ 年別発電量及びCO₂削減量（直近3年間 令和7年度は1月まで）

令和5年度 16,423kWh（当初想定：15,200kWh）…CO₂削減量 6.37t/CO₂
令和6年度 15,732kWh（当初想定：15,200kWh）…CO₂削減量 6.11t/CO₂
令和7年度 14,142kWh（当初想定：15,200kWh）…CO₂削減量 5.49t/CO₂

■ 月別発電量（直近3年間）



■ 地域貢献寄付金

自己財源のため、地域貢献寄付金なし

本事業での最近の活用内容

①遊休農地の活用、ガーデニング講習会等による良好な景観づくり
【丘づくりガーデニング推進事業】



【芝生化実証事業】



活動を行っているうえでの困りごとや今後の展開について
①太陽光発電設備の耐用年数経過に伴う維持管理への対応
②蓄電池等の活用によるエネルギーの有効利用を検討

会計報告（令和6年度）

※以下の会計については、事業専用の会計として管理しています。

■収入の部

前年度繰越金	79,565円
売電収入	616,016円
預金利息	149円
合計	695,730円

■支出の部

光熱水費	7,569円
租税公課	145,500円
役務費・委託料（保険、コンサルティング料）	24,550円
借入金返済	245,000円
繰出金（竜丘地域自治会へ）	100,000円
振込手数料	110円
合計	522,729円

■収支

収入の部 695,730円 - 支出の部 522,729円 = 173,001円

認定第5号

久米会館・さくら保育園久米分園

太陽光発電設備設置事業

- 事業者 久米区
- 協力事業者 おひさまグリッド5株式会社
- 発電設備 太陽光発電
- 発電箇所 久米会館・さくら保育園久米分園
- 太陽光発電容量 32.8 kW (パネル容量)
- 発電見込み量 年間 33,367 kWh

申出時点での事業計画

- ①久米地区住民に対して再生可能エネルギーの利用に関する啓発及び環境教育の推進。
- ②設備の利用方法を久米地区住民に周知し、非常時に円滑に利用する。

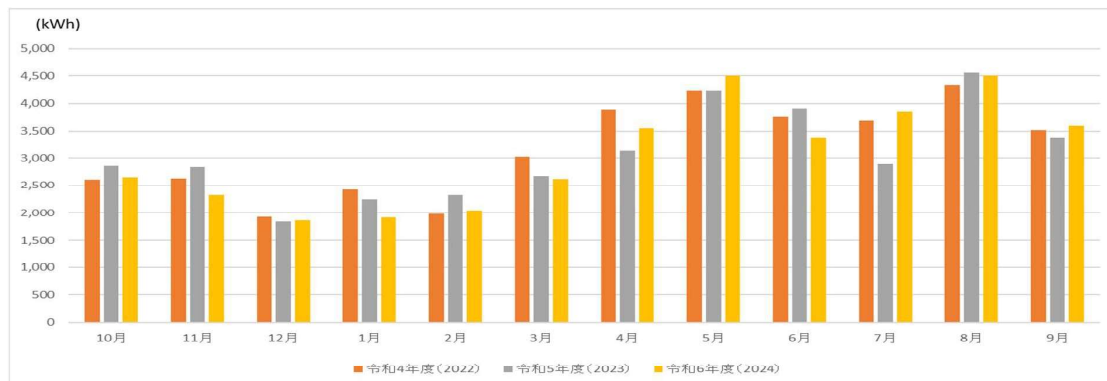
実績等

- 発電開始日 平成27年5月29日

■ 年別発電量及びCO₂削減量 (各年度10月～9月)

令和4年度 37,946kWh (当初想定: 33,367 kWh) …CO₂削減量 17.0t-CO₂
令和5年度 36,886kWh (当初想定: 33,367 kWh) …CO₂削減量 16.0t-CO₂
令和6年度 36,765kWh (当初想定: 33,367 kWh) …CO₂削減量 16.1t-CO₂

■ 月別発電量



■ 地域貢献寄付金

定額: 87,000円

認定第5号
久米会館・さくら保育園久米分園
太陽光発電設備設置事業

本事業での最近の活用内容

夏休みこどもの居場所づくり「感環K U M Eハウス」

夏休みに市内各地区から毎日15人のこどもたちがやってきました。宿題、プール遊び、ゲーム、ボール遊び、読書等と充実した日々。何より楽しみは、お昼のおにぎり。地区の女性22人が当番で手作りし、こどもたちと一緒に食べました。



ボール遊び



プール遊び



おにぎりづくり



いっしょにお昼

活動を行っているうえでの困りごとや今後の展開について

契約期間終了時(設置から20年後)における設備の扱いについて

- ・契約満了時における設備の取り扱いについては、令和4年9月28日に当時の山本自治振興センター所長がおひさま進歩エネルギー(株)と話をしている。それによると久米区が負担することは前提にしていない、廃棄処分費用については、全体事業(飯田市内で実施している各地区の発電事業)の中で積立をしている、とのことであった。
- ・このことについては、令和6年1月23日に久米区長が自治振興センター所長に確認した。
- ・以上の内容が確実に履行されるようにしてほしい。

会計報告 ※以下の会計については、事業専用の会計として管理しています。(R8.2.16現在)

■収入の部

前年度繰越金	337,508円	
今年度地域貢献寄付金	87,000円	令和7年10月31日受領
預金利息	526円	
合計	425,034円	

■支出の部

電気料	88,889円	(久米会館及び保育園の維持、管理経費)
合計	88,889円	

■収支

収入の部425,034円 - 支出の部88,889円 = 336,145円

認定第6号

龍江四区コミュニティ消防センター太陽光発電設備設置事業

- 事業者 龍江四区地域づくり委員会
- 協力事業者 エルコンパス イプサ 有限会社 ナカガワ龍峡店
- 発電設備 太陽光発電
- 発電箇所 龍江四区コミュニティ防災センター
- 太陽光発電容量 15.86 kW
- 発電見込み量 年間18,628 kWh

申出時点での事業計画

- ① 防災機能の向上
 - ・ 防災設備の拡充及び充実（非常用電源確保等）
- ② 地区事業の実施
 - ・ ほたる祭り等の助成
 - ・ 地域元気づくり講演会

実績等

■ 発電開始日 平成27年6月5日

■ 年別発電量及びCO₂削減量

※中部電力排出係数（調整後） R5：0.433 R6：0.421 R7：0.411

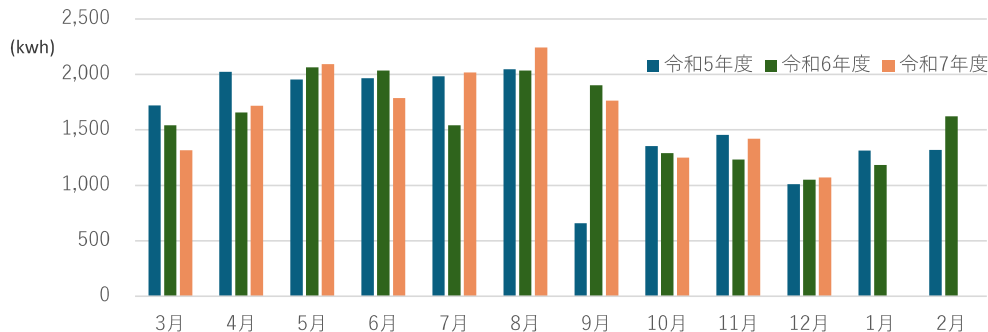
令和5年度18,797kWh（当初想定：18,628kWh）…CO₂削減量 8.139t/CO₂

令和6年度19,145kWh（当初想定：18,628kWh）…CO₂削減量 8.060t/CO₂

令和7年度16,667kWh（当初想定：18,628kWh）…CO₂削減量 6.850t/CO₂

※令和7年12月31日数値

■ 月別発電量



■ 地域貢献寄付金（定率15%）（事業開始からご記入ください）

平成28年度	108,495円	平成29年度	106,488円
平成30年度	109,200円	令和元年度	103,385円
令和2年度	103,244円	令和3年度	102,251円
令和4年度	102,674円	令和5年度	97,119円
令和6年度	101,133円	令和7年度	100,000円(概算見込み)

本事業での最近の活用内容

「ほたる祭り」安全備品の購入助成金
 「ほたる祭り」運営補助金
 竹林整備 備品補助



令和6年度 元気づくり支援金事業

優良事例 「県知事表彰」を受賞しました

活動を行っているうえでの困りごとや今後の展開について

- ①地区内活動への助成
 - ・区内キャンプ場有効活用のための助成
 - ・「ほたる祭り」への助成
- ②防災避難所への助成（来年度予定）
- ③地域振興キャンプサイトの整備
- ④冬季及び豪雨時の災害対策（竹林整備）

会計報告 ※以下の会計については、事業専用の会計として管理しています。

■収入の部

前年度繰越金	137,119 円	R6年度
今年度地域貢献寄付金	101,133 円	R7年3月受領分
預金利息	0 円	
合計	238,252 円	

■支出の部

「ほたる祭り」安全備品の購入助成金	26,840 円
「ほたる祭り」運営補助金	50,000 円
竹林整備 備品補助	10,000 円
合計	86,840 円

■収支

収入の部 238,252円－支出の部 86,840円＝ 151,412円
 (次年度へ繰越)

※ 次年度のほたる祭り助成及び防災備品の充実に充当予定

認定第7号

飯田市今田人形の館太陽光発電再生可能エネルギー活用事業

- 事業者 今田人形の館運営委員会
- 協力事業者 おひさまグリッド5株式会社
- 発電設備 太陽光発電
- 発電箇所 今田人形の館
- 太陽光発電容量 12.0 kW
- 発電見込み量 年間13,634 kWh

申出時点での事業計画

- ① 寄付金を活用した今田人形の承継
- ② 寄付金を活用した防災機能の向上
- ③ 非常用電源確保による防災機能の向上

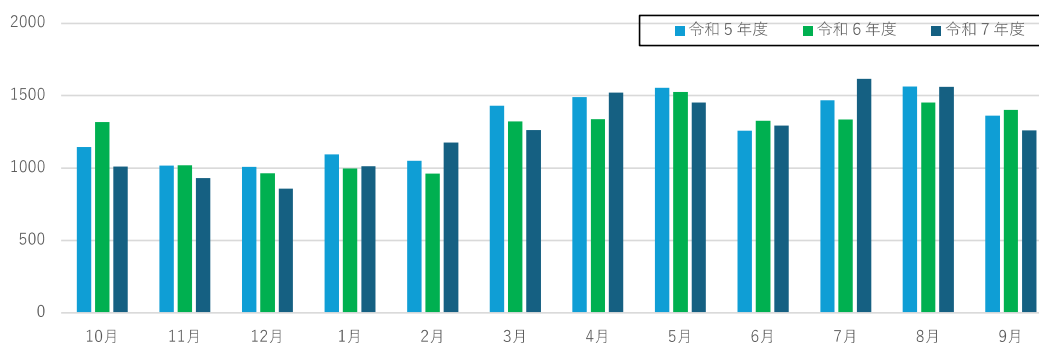
実績等

認定第7号
飯田市今田人形の館太陽光発電設備設置事業

- 発電開始日 平成27年6月12日

- 年別発電量及びCO₂削減量 (各年度10月～9月) R5:0.433 R6:0.421 R7:0.411
令和5年度 15,428kWh (当初想定: 13,634 kWh) …CO₂削減量 6.68t-CO₂
令和6年度 14,950kWh (当初想定: 13,634 kWh) …CO₂削減量 6.29t-CO₂
令和7年度 14,943kWh (当初想定: 13,634 kWh) …CO₂削減量 6.14t-CO₂

■ 月別発電量



■ 地域貢献寄付金 (定率6%+税)

平成28年度 : 44,451円	令和2年度 : 32,567円	令和5年度 : 33,415円
平成29年度 : 33,949円	令和3年度 : 31,930円	令和6年度 : 32,813円
平成30年度 : 33,318円	令和4年度 : 33,418円	令和7年度 : 32,194円
令和元年度 : 33,353円		

※発電開始初年度の寄付金は翌年分と合算。年度は支払い年度を示す。

R7年度 本事業での最近の活用内容

<今田人形の承継>



活動を行っているうえでの困りごとや今後の展開について

- 今田人形の承継への取り組み
 - ・ 宵祭りに使用する和ろうそく(20本 ¥105,700)の購入の一部とした

会計報告

※以下の会計については、事業専用の会計として管理しています。

■ 収入の部

前年度繰越金	0円
今年度地域貢献寄付金	32,194円
預金利息	0円
合計	32,194円

■ 支出の部

今田人形 和ろうそく	32,194円
合計	32,194円

■ 収支

収入の部 32,194円 — 支出の部 32,194円 = 0円

認定第8号

飯田市立旭ヶ丘中学校太陽光発電設備設置事業

- 事業者 伊賀良まちづくり委員会・山本地域づくり協議会
旭ヶ丘中学校PTA・生徒会・教職員
- 協力事業者 おひさま進歩9号株式会社
- 発電設備 太陽光発電
- 発電箇所 飯田市立旭ヶ丘中学校
- 太陽光発電容量 57.24 kW (パネル容量)
- 発電見込み量 年間 60,812 kWh

申出時点での事業計画

- ①生徒が主体的に取り組む、地域と連携した環境教育及び地域活動
- ②地域に開かれた学校づくりによるスクールコミュニティ（人々の結びつきや 関わりをより強め、学校と地域社会の協働関係を、より良好なものとなるための実践や考え方をいう。）の発展
- ③本件施設の防災機能の向上
- ④学校太陽光発電の取り組みの広範な発信

実績等

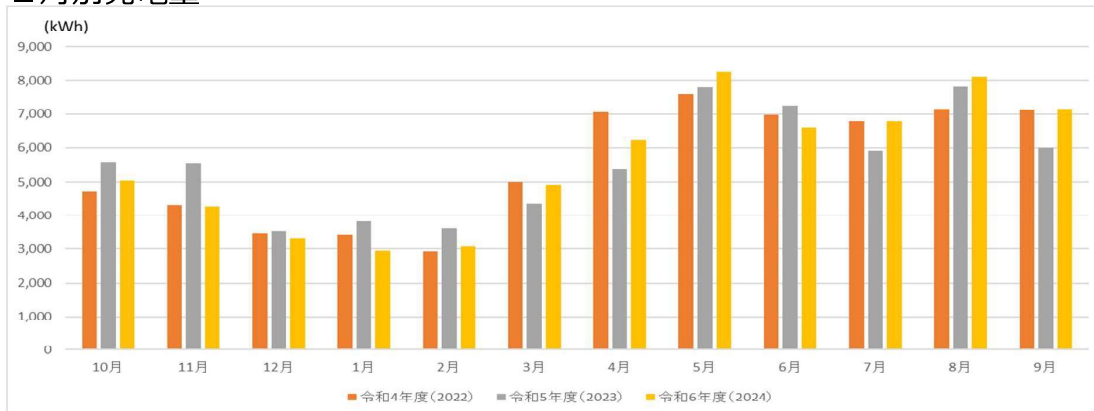
認定第8号
飯田市立旭ヶ丘中学校太陽光発電設備設置事業

- 発電開始日 平成28年3月12日

■ 年別発電量及びCO₂削減量 (各年度10月～9月)

令和4年度 66,518 kWh (当初想定：60,812 kWh) …CO₂削減量 29.9 t-CO₂
令和5年度 66,580kWh (当初想定：60,812 kWh) …CO₂削減量 28.8 t-CO₂
令和6年度 66,672kWh (当初想定：60,812 kWh) …CO₂削減量 29.3 t-CO₂

■ 月別発電量



■ 地域貢献寄付

定額：100,000円

本事業での最近の活用内容
①福利委員会による太陽光発電学習会



②福利委員会による全校発表
『おひさま』新聞

飯田市立旭ヶ丘中学校
おひさま新聞
令和七年十二月 発行

私たち福利委員会は、七月におひさま進歩エネルギーの方を講師にお招きして、太陽光発電学習会を行いました。私たちは、この旭ヶ丘中学校がSDGsの活動に参加していることを知りました。それは南校舎の屋上に設置されている、太陽光パネルでの発電です。再生可能エネルギーを使用していることで環境にやさしく、CO2の七割の削減に貢献し、SDGsの目標達成に貢献しています。そんな太陽光パネルを持っている私たちには何でしようか、一緒に考えていきたいと思います。

おひさまクイズの答え

問一 ソーラーパネルで発電できる量はどれくらいでしょうか？
答え ③ 開け

問二 学校の管理棟に設置されているソーラーパネルは向かい側でしょうか？
答え ② 216枚

問三 夏のエアコンの稼働率で電気の使用量が一番多いのはどれでしょうか？
答え ① 18℃

問四 旭ヶ丘中学校にソーラーパネルが設置された年はいつでしょうか？
答え ② 2016年

資源を大切に、環境に気を配ろう
令和七年 委員長 福島 大翔より
福利委員会は環境の負担を減らすために屋上にソーラーパネルを設置して発電をしています。資源を大切にするためには、発電だけでなく、節水・節電することも大切なことです。普段の生活から学校生活まで節水節電を一人一人が心がけることができますようにしていきたい！

常に節水節電を心がけよう
令和七年 副委員長 松谷 結実より
地球温暖化が進んでいる今、私たち一人一人ができることはなんですか。一人一人ができることは限られています。みなさんが協力していくことで大きな力になります！少しでも節水や節電でも気づいたら行えるようになっていきたいと思います。

正副委員長からのメッセージ

活動を行っているうえでの困りごとや今後の展開について

①地域と連携した環境教育

- ・おひさま進歩エネルギー様のご協力の下、環境教育を充実して行えている。
- ・エネルギーに関する学習として、1年生の総合的な学習の時間や委員会活動での学びが中心となっており、それを全校で紹介している。更に多くの生徒が学べる機会をつくってきたい。
- ・災害時に中学生がパソコンの切り替えを率先して行えると良い。

②寄付金の用途

- ・全校生徒に学校生活で必要としているものをアンケートし、必要物品を購入していく。
- ・地域からの出資によって実現した事業のため、地域に還元する用途も考えたい。

会計報告 ※以下の会計については、事業専用の会計として管理しています。

■収入の部

前年度繰越金	393,405円	10月31日受領
今年度地域貢献寄付金	100,000円	
預金利息	702円	
合計	494,107円	

■支出の部

物品購入	110,880円
学習会講師謝礼	0円
イベント用機材購入	0円
合計	110,880円

■収支

収入の部 494,107円－支出の部 110,880円＝ 383,227円

認定第9号

花の木山本小学校太陽光発電事業

- 事業者 山本地域づくり委員会
- 協力事業者 おひさま進歩10号株式会社
- 発電設備 太陽光発電
- 発電箇所 山本小学校
- 太陽光発電容量 42.93 kW (パネル容量)
- 発電見込み量 年間 47,464 kWh

申出時点での事業計画

- ①山本小学校、PTA、地区内の諸団体等が連携して行う学校事業及び環境整備への支援。
- ②山本地区住民への広報を通じて、環境に対する意識の向上を図る。
- ③非常用電源設備の利用方法を地区住民に周知し、災害時に利用する。

実績等

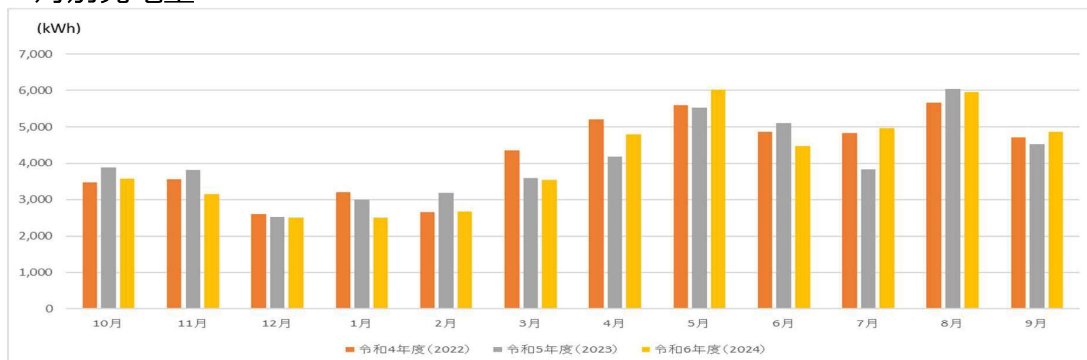
認定第9号
花の木山本小学校太陽光発電事業

- 発電開始日 平成29年5月30日

■ 年別発電量及びCO₂削減量 (各年度10月～9月)

令和4年度 50,791 kWh (当初想定: 47,464 kWh) …CO₂削減量 22.8 t-CO₂
令和5年度 49,204 kWh (当初想定: 47,464 kWh) …CO₂削減量 21.3 t-CO₂
令和6年度 49,003 kWh (当初想定: 47,464 kWh) …CO₂削減量 21.5 t-CO₂

■ 月別発電量



■ 地域貢献寄付金 (定率5%+税)

平成30年度: 86,254円 令和4年度: 60,577円 令和7年度: 59,293円
令和元年度: 62,275円 令和5年度: 61,457円
令和2年度: 60,328円 令和6年度: 59,536円
令和3年度: 59,741円

※発電開始初年度の寄付金は翌年分と合算。年度は支払い年度を示す。

本事業での最近の活用内容
学校用かんたん机・椅子昇降機の購入



- 令和3年3月 卒業生である6年が学校敷地内に花桃の苗木6本を植樹。
 令和4年3月 卒業生である6年が学校敷地内にサンシュの苗木を一本植樹。
 令和5年3月 卒業生である6年が学校敷地内にサンシュの苗木2本の記念植樹。
 令和6年3月 卒業予定である6年が学校敷地内にサンシュの苗木2本の記念植樹。
 令和6年度 CO2モニター6台を購入。高学年教室を中心に配置。
 令和7年度 学校用かんたん机・椅子昇降機の購入(160個)

活動を行っているうえでの困りごとや今後の展開について
特にありません。引き続き同様の活動を行っていきたい。

会計報告 ※以下の会計については、事業専用の会計として管理しています。

■収入の部

前年度繰越金	0円
今年度地域貢献寄付金	59,293円
合計	59,293円

■支出の部

環境整備費	59,293円	(すくすくアジャスター)
合計	0円	

■収支

収入の部59,293円 - 支出の部59,293円 = 0円

認定第10号

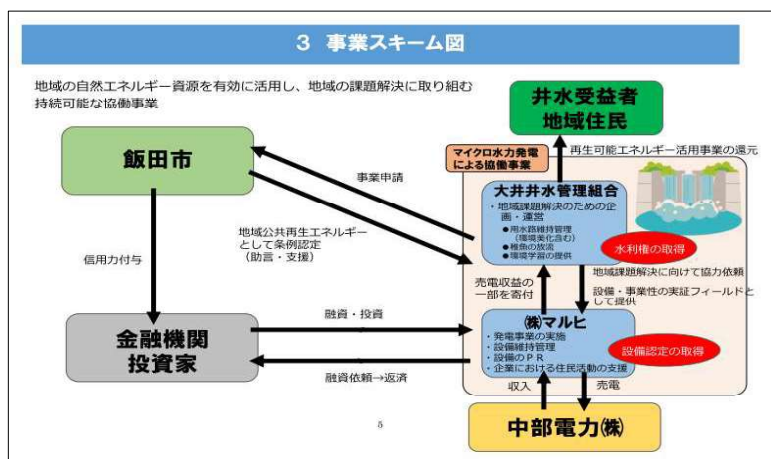
小沢川小水力発電事業

- 事業者 上村まちづくり委員会
- 協力事業者 かみむら小水力株式会社
- 発電設備 小水力発電
- 発電箇所 天竜川水系 小沢川
- 有効落差 最大 92.26m 常時 98.75m
- 使用水量 最大 0.31m³/s 常時 0.09m³/s
- 出力 最大 199.9kw 常時 59.5kw
- 導水管延長 955.01m
- 着工予定 未定
- 発電開始 未定

認定第11号

伊賀良井用水マイクロ水力発電再生可能エネルギー活用事業

- 事業者 株式会社マルヒ
飯田市大井井水管理組合
- 発電設備 マイクロ水力発電
- 発電箇所 飯田市 妙琴浄水場



マイクロ水力発電機稼働状況(発電中)



実績等

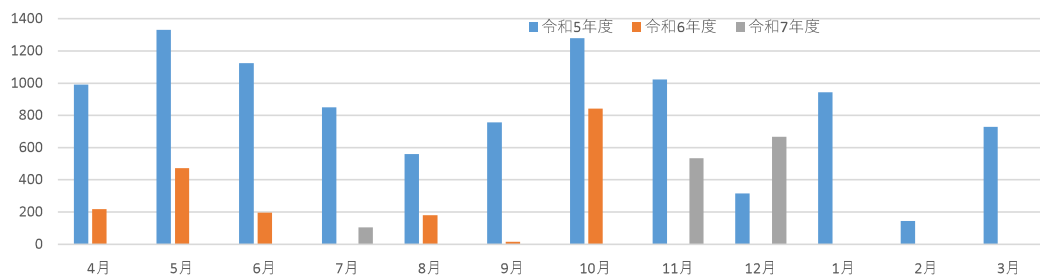
■ 発電開始日 令和元年 1月

■ 年別発電量（直近3年間）

令和5年度	10,046kWh	(当初想定: 15,417kWh) …CO ₂ 削減量4.23t/CO ₂
令和6年度	1,926kWh	(当初想定: 15,417kWh) …CO ₂ 削減量0.81t/CO ₂
令和7年度	1,306kWh	(当初想定: 15,417kWh) …CO ₂ 削減量0.57t/CO ₂

※令和7年4月～令和7年12月まで

■ 月別発電量



■ 地域貢献寄付金

平成30年度(売電寄付金¥40,377)	93,740円	令和4年度	133,400円
令和元年度	73,382円	令和5年度	110,051円
令和2年度	49,969円	令和6年度	20,255円
令和3年度	43,806円	令和7年度	115,175円 ※見込み

本事業での最近の活用内容

令和2年度～令和7年度 環境整備作業

井水組合、地元地区において、設備周りの環境整備作業を行いました。



令和7年度 高等学校見学会の実施

令和7年度において、下伊那農業高等学校 農業機械課に通う生徒と職員へ農業用水の成り立ちや地域とのかかわり深さなどの学習として水力発電設備の紹介を行いました。



現況の事業報告や今後の展開についてと会計報告

【現況 事業報告】

寄付金事業収入は環境整備などの費用の一部として使用しています。
2025年3月まではリニア工事による大井橋架け替えで止水しているため、売電を停止している状況でした。
大井橋架け替え工事の最低保障金により収支はプラスとなりましたが発電設備故障と農業用水の関係から止水不可の時期が重なり、稼働時間が大幅に減ってしまいました。

【今後の展開】

引き続き 井水組合、飯田市との連携で事業を進めさせていただきます。
現行場所は、24時間稼働と長年使用による経年劣化により破損箇所が多く見受けられましたので、破損箇所の工事を実施し、24時間稼働しても問題ない設備に戻したいと考えております。

会計報告

■収入の部

前年度繰越金	8,058円	
今年度地域貢献寄付金	105,105円	2026年1月22日受領
合計	113,163円	

■支出の部

発電用流水占用料	7,581円
事務所電気代	5,271円
環境整備費	50,000円
合計	62,852円

■収支

収入の部113,163円 － 支出の部62,852円 ＝ 50,311円

認定第12号

下久堅ふれあい交流館太陽光発電再生可能エネルギー活用事業

- 事業者 下久堅地区まちづくり委員会
- 協力事業者 エルコンパス・イプサ（有）ナカガワ龍峡店
- 発電設備 太陽光発電
- 発電箇所 下久堅ふれあい交流館
- 太陽光発電容量 27.5kW（250W×110枚）
- 発電見込み量 年間34,272kWh



下久堅ふれあい交流館

申出時点での事業計画

- ①エルコンパス・イプサがふれあい交流館の屋根を利用し、発電設備の設置及び発電事業を実施。
- ②売電収入の一部を地域貢献寄附金として下久堅地区まちづくり委員会に寄附する。
- ③まちづくり委員会は、下久堅の伝統であるひさかた和紙の保存・継承や体験プログラムの活動費等に活用する。

実績等

■ 発電開始日 平成31年3月～

■ 年別発電量及びCO₂削減量 (直近3年間 令和7年度は見込み)

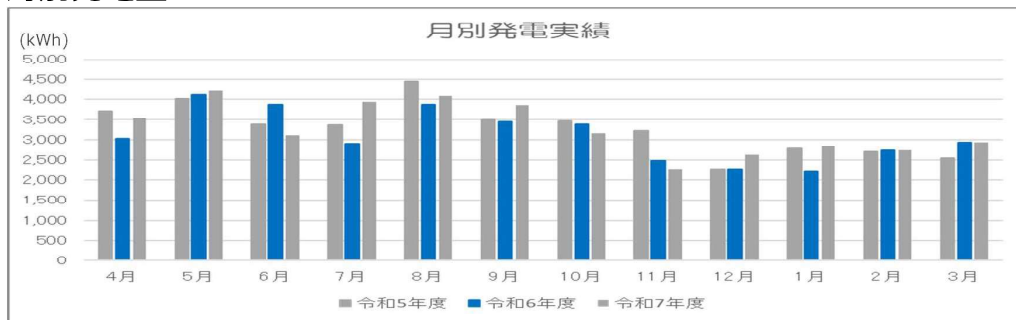
※中部電力排出係数(調整後) R5:0.421 R6:0.421 R7:0.411

令和5年度 39,427kWh (当初想定: 34,272kWh) …CO₂削減量 16.59t/CO₂

令和6年度 37,329kWh (当初想定: 34,272kWh) …CO₂削減量 15.71t/CO₂

令和7年度 39,283kWh (当初想定: 34,272kWh) …CO₂削減量 16.14t/CO₂

■ 月別発電量



■ 地域貢献寄付金 (定率9%)

令和元年度 73,670円 令和4年度 68,875円 令和7年度 69,526円

令和2年度 68,303円 令和5年度 71,251円 (R8.1.31現在の見込み額)

令和3年度 67,865円 令和6年度 66,304円

本事業での最近の活用内容

① 下久堅小学校児童による地域学習



1年生トコロアオイ播まき (5月)



こぞ皮むき作業 (11月)



紙漉き体験 (12月)

② 和紙の活動



こぞ畑の収穫作業 (11月)



こぞ蒸し作業 (11月)



佐藤市長とのふれあいトーク (11月)



ツアー・オブ・ジャパン信州飯田ステージへの出店 (5月)



地域人教育(飯田OIDE長姫高校生)による「ひさかたイルミネーション」(12月) ひさかた和紙を使ったランプシェードを高校生が制作



インバウンド観光客の初受け入れ (月)

活動を行っているうえでの困りごとや今後の展開について

①活動の課題

- ・体験プログラムや和紙製品の販売により、自主財源の安定的な確保。
- ・年間を通じた楮畑の管理（草刈り、芽欠き等）や紙漉き材料を準備する過程におけるスタッフの確保。
- ・紙漉きに関する知識や技術を継承する後継者の育成。

②今後の展開

- ・和紙製品を商品化し、ひさかた和紙の認知度の拡大を図る。
- ・体験プログラムを通じて和紙への関心を高め、ファンづくりや人材確保につなげる。
- ・安定した収入を確保し、持続可能な活動体制を構築する。
- ・体験型観光の受け入れや、和紙の原料、製品の販売等による収入を、自治組織の自主財源として地域に還元できる仕組みを研究する。

会計報告 ※以下の会計については、事業専用の会計として管理しています。

■収入の部

前年度繰越金	416,427円	
今年度地域貢献寄付金	69,526円	(見込み)
預金利息	674円	
合計	486,627円	

■支出の部 0円

(紙漉き道具等の購入資金として積立中)

■収支

収入の部 486,627円 - 支出の部 0円 = 486,627円 (令和7年度見込み額)

認定第13号

ハートヒル川路太陽光発電再生可能エネルギー活用事業

- 事業者 川路地区まちづくり委員会
- 協力事業者 おひさま進歩エネルギー株式会社
- 発電設備 太陽光発電
- 発電箇所 ハートヒル川路
- 太陽光発電容量 89.28 k W (パネル容量)
- 発電見込み量 年間 95,832 k W h

申出時点での事業計画

- ①太陽光発電を通じた環境教育の実施
- ②ハートヒル川路利用者との交流事業、施設整備事業への寄付金活用
- ③ハートヒル川路利用者とまちづくり委員会との合同防災訓練の実施
- ④まちづくり委員会による川路へ帰ろう事業

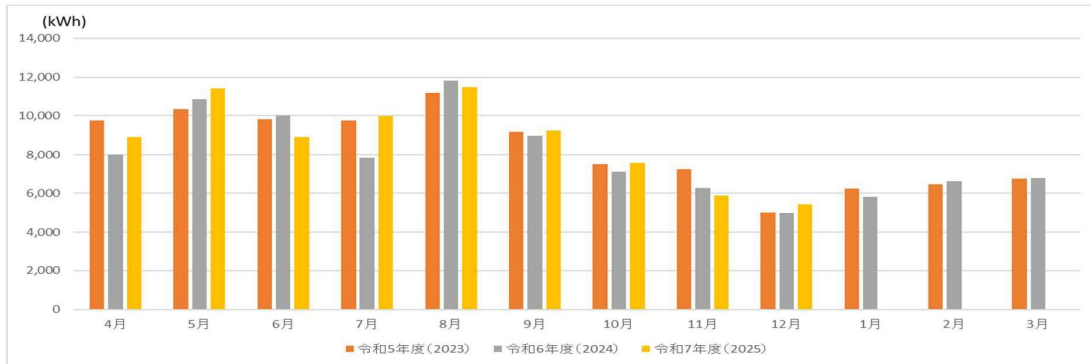
実績等

■ 発電開始日 令和2年2月1日

■ 年別発電量及びCO₂削減量 (各年度4月～3月)

令和5年度 99,404 kWh (当初想定: 95,832 kWh) … CO₂削減量 43.0 t-CO₂
 令和6年度 95,284 kWh (当初想定: 95,832 kWh) … CO₂削減量 41.8 t-CO₂
 令和7年度 78,881 kWh (当初想定: 74,162 kWh) … CO₂削減量 32.4 t-CO₂ (R7.4~12)

■ 月別発電量



■ 地域貢献寄付金 (定率5%+税)

令和3年度: 122,200円 令和6年度: 114,811円
 令和4年度: 111,942円 令和7年度: 110,052円
 令和5年度: 112,834円

※発電開始初年度の寄付金は翌年分と合算。年度は支払い年度を示す。

本事業での活動内容

川路へ帰ろう事業



川路公式Instagram「川路っていいとこだに」

里山保全事業

ナラ枯れ木多数あり



里山整備作業 2026.3 (予定)

保育園児に対する支援事業



保育園農業体験事業 2025.5.30 2025.9.

活動を行う上での困りごとや今後の展開について

- ①令和4年度以降、川路で生まれる子供が大きく減少していることを踏まえ、若い世帯の移住促進に取り組む。「川路へ帰ろうキャンペーン事業」の一環として、SNS(Instagram)活用による広告や川路のPRの実施。移住者の受け皿づくりとして、空き家、宅地造成可能な土地の情報収集と活用に向けた情報提供の充実が必要。
- ②里山整備は、保育園が活用している学友林についてナラ枯れによる落木の危険を防止するため整備を継続。
- ③ホームページは活発な投稿を引き続き継続するとともに、今後、後世に残したい川路の貴重な資料を整理し、自由に閲覧可能な環境を整備したい。
- ④ハートヒル川路とは、「敬老会」「避難訓練」等に参加し交流を継続していく。
- ⑤保育園児の農業体験事業として毎年実施している田植え、稲刈り作業は農業振興会議と共にまちづくりとしても協力していく。

会計報告 ※以下の会計については、「太陽光発電事業」としてまちづくり委員会会計に直結した形で独立して管理しています

■収入の部

前年度繰越金	0円
今年度地域貢献寄付金	170,000円 (リックスより5月入金)
	110,052円 (おひさま進歩より6月入金)
合計	280,052円

■支出の部

①川路へ帰ろうキャンペーン事業	60,000円 (川路公式Instagramの更新手数料)
②里山管理事業	55,000円 (3月実施予定の学友林整備に係る見込み額)
③川路農園運営補助事業	10,000円 (畑の賃貸料等)
④まちづくりウェブサイト充実事業	60,000円 (オペレーター委託料)
⑤ハートヒル川路交流事業	0円 (敬老会補助等)
⑥川路保育園児米作り協力	0円 (作業協力のため)
合計	185,000円 (見込み額)

■収支

280,052(収入)－185,000(支出)＝95,052円(まちづくり委員会への戻し見込み額)

認定第14号

竜峡共同調理場太陽光発電

再生可能エネルギー活用事業

- 事業主体 龍江地域づくり委員会 会長 宮脇正博
- 協力事業者 エルコンパス・イプサ有限会社 ナカガワ龍峡店
- 発電設備 太陽光発電
- 発電箇所 竜峡共同調理場 飯田市龍江3600-1
- 太陽光発電容量 24.00 kW (250W x 96枚)
- 発電見込み量 年間29,554 kWh

申出時点での事業計画

- ①食とエネルギーの地域循環の創出と環境教育の推進
- ②竜峡小梅、地元産大豆等の地元食材を活用した郷土食の提供による域産域消の推進
- ③市内の小中学校への給食を安全安心に配達するための隣接する放置竹林の環境整備作業
- ④調理場周辺の放置竹林整備による害虫発生抑制と衛生環境の向上

実績等

■ 発電開始日 令和2年3月30日

■ 年別発電量及びCO₂削減量（令和5年3月～令和7年12月）

※中部電力排出係数（調整後） R5 : 0.433 R6 : 0.421 R7 : 0.411

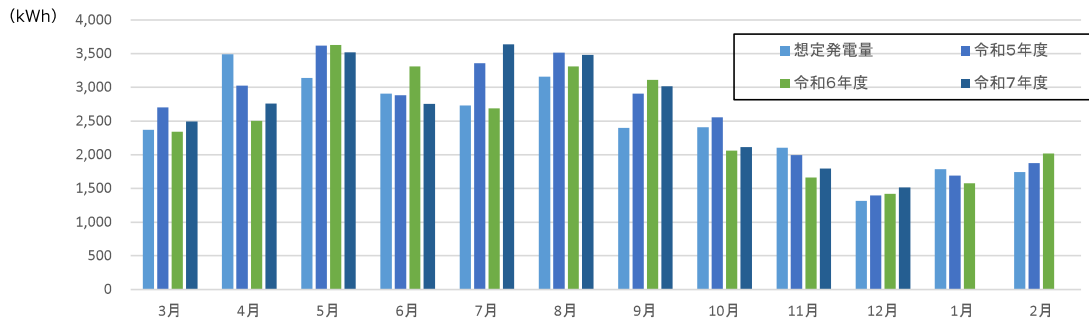
令和5年度31,527kWh（当初想定：29,554kWh）・・・CO₂削減量 13.65t/CO₂

令和6年度29,627kWh（当初想定：29,554kWh）・・・CO₂削減量 12.47t/CO₂

令和7年度27,085kWh（当初想定：29,554kWh）・・・CO₂削減量 11.13t/CO₂

※令和7年12月31日数値

■ 月別の想定発電量と発電実績（令和5年3月～令和7年12月実績）



■ 地域貢献寄付金（定率10%）

令和2年度	72,393円	令和5年度	82,621円
令和3年度	80,619円	令和6年度	78,930円
令和4年度	80,316円	令和7年度	80,406円 ※見込み

本事業での最近の活用内容

- 調理場周辺の側溝に詰まった落ち葉の掃除、放置竹林の整備を実施した。



作業後



活動を行っているうえでの困りごと

- 調理場周辺にある放置竹林が急峻で危険な場所にあるため、手の付けられない状態になっている。
- 落ち葉の掃除と比較的安全な場所の竹林整備は毎年、住民で行っているが年々竹林や雑木が広がっている。

今後の展開について

- ① 調理場周辺の落ち葉拾いや放置竹林の整備はできる限り毎年行うこととし、今後は龍江地区内の広範囲にわたる竹林整備や除草作業を実施する様にしたい。
- ② 伐採した竹などの活用方法を地域おこし協力隊員と研究する。

会計報告 ※以下の会計については、事業専用の会計として管理しています。

■収入の部

前年度繰越金	247,859円	
今年度地域貢献寄付金	78,692円	(4月受取)
合計	326,551円	

■支出の部

作業の飲み物	3,200円
合計	3,200円

■収支

$$326,551円 - 3,200円 = 323,351円$$

認定第15号

千代地区 (千代小学校・千栄小学校)

太陽光発電再生可能エネルギー活用事業

■事業主体 千代地区まちづくり委員会 会長 小澤 克平

■協力事業者 株式会社リックス 代表取締役 熊谷 弘

■発電設備 太陽光発電

■発電場所 飯田市立千代小学校 飯田市千代3166番地2

飯田市立千栄小学校 飯田市千栄1530番地1

■発電容量 最大出力 55.48kw

(千代小学校27.74kw、千栄小学校27.74kw)

■発電見込み量 年間 53,302kWh

申出時点での事業計画

- ①地域環境資源の情報発信の強化
- ②地区の特産物や農産物の販路拡大による長野県版エシカル消費の推進
- ③地域の子どもたちの教育環境の充実

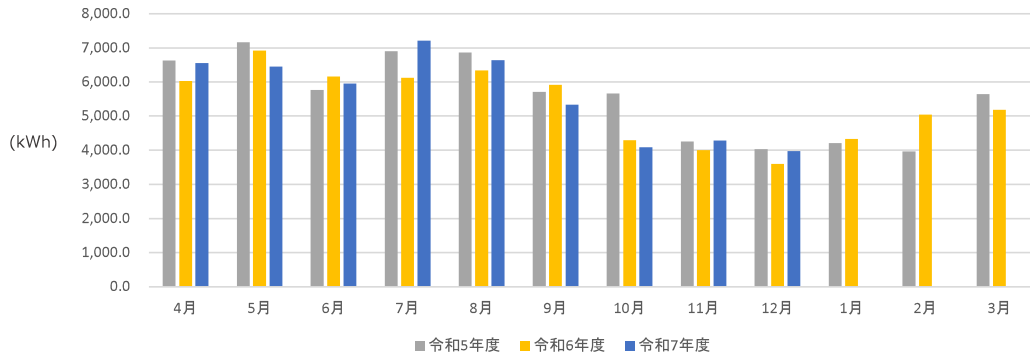
実績等

- 発電開始日 千代小学校 令和2年7月22日
千栄小学校 令和2年6月16日

■ 年別発電量及びCO2削減量

令和5年度66,765.1kWh (当初想定: 60,112.6kWh) …CO2削減量27.91t-CO2
 令和6年度63,924.0kWh (当初想定: 59,807.4kWh) …CO2削減量26.72t-CO2
 令和7年度50,492.9kWh (当初想定: 59,502.3kWh) …CO2削減量21.11t-CO2

■ 月別発電量



■ 地域貢献寄付金 (定額180,000円)

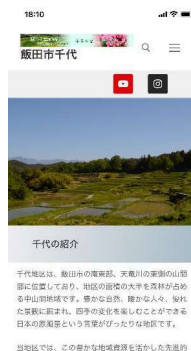
令和3年度 180,000円 令和5年度 180,000円 令和7年度 180,000円
 令和4年度 180,000円 令和6年度 180,000円

本事業での最近の活用内容

① 環境教育の充実



② 魅力発信等



活動を行っているうえでの困りごとや今後の展開について

①活動を行う上での課題（基本構想により取り組む地域課題）

- ・情報発信の強化
- ・子どもたちの教育環境の充実

②今後の展開について

- ・SNSを活用した地区の豊かな環境資源の情報発信
- ・地区の将来を担う子どもたちの教育環境の充実

会計報告（令和7年度）

■収入の部 今年度地域貢献寄付金 180,000円(4月30日受領)

合計 180,000円

■支出の部 教育環境の整備 120,000円(千代小、千栄小の備品等購入)

魅力発信事業 60,000円(ホームページ運営等)

合計 180,000円

■収支

収入の部 180,000円－支出の部 180,000円＝ 0円

認定第16号

上久堅農村環境改善センター（上久堅公民館）

太陽光発電再生可能エネルギー活用事業

■事業者 上久堅地区まちづくり委員会

■協力事業者 株式会社 リックス

■発電設備 太陽光発電

■発電箇所 上久堅農村環境改善センター

■太陽光発電容量 20.805 kwh

■発電見込み量 年間 22,313.4kwh

申出時点での事業計画

- ① 景観形成のための、屋外広告物の改修、修繕及び除却費への活用
- ② 空き家対策作業時等における経費への活用
- ③ 環境及び農地保全のための野生鳥獣防護柵の維持管理に必要な資材購入への活用
- ④ 上久堅公民館の屋根を活用した太陽光発電による売電事業

実績等

■ 発電開始日 令和2年7月2日

■ 年別発電量及びCO₂削減量

令和4年度23,252.5kWh (当初想定: 22,656.6kWh) …CO₂削減量 9.72t/CO₂

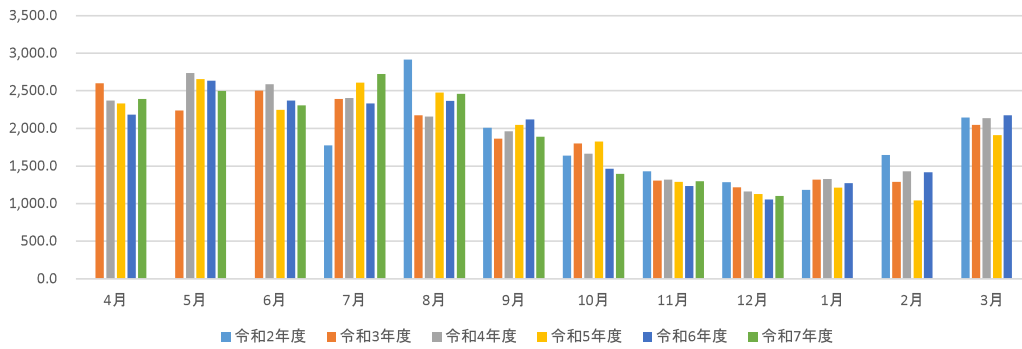
令和5年度22,767.7kWh (当初想定: 22,542.2kWh) …CO₂削減量 9.52t/CO₂

令和6年度22,263.1kWh (当初想定: 22,427.8kWh) …CO₂削減量 9.31t/CO₂

令和7年度18,059.8kWh (当初想定: 22,313.4kWh) …CO₂削減量 7.55t/CO₂

※令和7年12月31日数値

■ 月別発電量



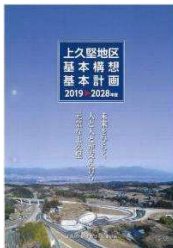
■ 地域貢献寄付金 (定額 80,000円)

令和3年度 80,000円 令和4年度 80,000円 令和5年度 80,000円

令和6年度 80,000円 令和7年度 80,000円 ※見込み

本事業での最近の活用内容

① 上久堅地区基本構想・基本計画及び上久堅地区土地利用計画 策定



- 平成31年(2019)4月～施行
- ・人口減少に伴う地域内の空き家対策の実施
 - ・美しい景観の保全のため、屋外広告物について必要に応じた規制の検討
 - ・野生鳥獣対策に有効な防護柵維持管理への協力



- 令和2年(2020)10月～施行
- ・上久堅地区空き家対策特別委員会を設置し始動
 - ・屋外広告物について飯田市条例を利用した基準強化及び老朽化し表示が見えない屋外広告物の看板改修、撤去等の方針

② 上記計画に基づく主な活動



屋外広告物に関する撤去・改修



野生鳥獣対策防護柵補修作業

- ・屋外広告物検討委員会立上げ上久堅の美しい景観を保護するため、上久堅地区における屋外広告物に関する基準強化を要望し令和3年3月から施工となった。また令和2年度に現地調査を行い、退色した屋外広告物を徐々に撤去又は更新を開始した。
- ・令和元年度にまちづくり委員会の特別委員会として「空き家対策特別委員会」を設置し、移住者を呼び込むためには住む場所の確保が大事であり、現在までに21件の空き家解消につながっている。
- ・野生鳥獣対策協議会を中心に維持活動に取り組んでいる。年に2回の防護柵点検作業を行っている。

活動を行っているうえでの困りごとや今後の展開について

① 屋外広告物の改修、修繕

- ・現地調査を行った結果、ひどく退色した屋外広告物が多かったため、徐々に撤去又は更新していく。
- ・民間業者または非営利団体等が設置した広告物については設置者との調整が必要であるため時間と労力がかかる。

② 空き家対策

- ・1件の解消に4～5年かかるケースが多い。家を処分することには相当な決意が必要な為、丁寧に時間をかけて家主に話していく必要性がある。
- ・相続登記がされていない空き家が多く、解消の意向があってもできないことがある。令和6年度に相続登記が義務化されたため、空き家対策委員会でも規則に沿った活動を行う。
- ・空き家解消件数の目標を2件以上とし飯田市空き家バンクへの登録件数の増、地区HPを活用した情報発信を引き続き行う。

③ 野生鳥獣防護柵の維持管理

- ・現在のところ委員の補修対応で維持を行っているが、倒木等による大規模な修繕も必要となってきている。令和7年度は7月と11月、計2回実施した。

会計報告 ※以下の会計については、事業専用の会計として管理しています。

■ 収入の部

前年度繰越金	310,624円	
まちづくり繰入金	150,000円	
今年度地域貢献寄付金	80,000円	令和7年5月7日 受領
預金利息	831円	
合計	541,455円	

■ 支出の部

事業費	96,800円	(景観向上事業) 令和8年2月27日現在
合計	96,800円	

■ 収支

収入の部 541,455円 － 支出の部 96,800円 = 444,655円

認定第17号

松尾地区（松尾小学校・松尾公民館）太陽光発電再生可能エネルギー活用事業

■ 事業者 松尾地区まちづくり委員会

■ 協力事業者 株式会社リックス

■ 発電設備 太陽光発電

■ 発電箇所 松尾小学校・松尾公民館

■ 太陽光発電容量 飯田市松尾公民館 20.81 kW
飯田市立松尾小学校 27.74 kW

■ 発電見込み量 飯田市松尾公民館 年間20,891 kWh
飯田市立松尾小学校 年間29,001 kWh

申出時点での事業計画

- ① 地域の子どもたちを地域で育てるコミュニティスクールの推進
- ② エネルギーの地域循環の創出と環境学習の推進
- ③ 災害時など送電網による電力供給が停止した際の臨時的な電力の確保
- ④ 松尾公民館及び松尾小学校の屋根を活用した太陽光発電による売電事業

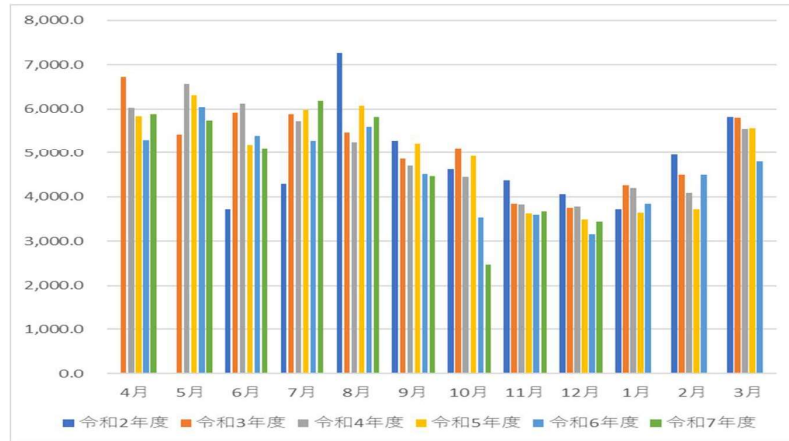
実績等

■ 発電開始日 平成2年6月9日

■ 年別発電量及びCO₂削減量（直近3年間）

令和5年度	59,556.2kWh	(当初想定: 52,598.5kWh)	…CO ₂ 削減量	24.894t/CO ₂
令和6年度	55,562.0kWh	(当初想定: 52,331.5kWh)	…CO ₂ 削減量	23.225t/CO ₂
令和7年度	42,764.0kWh	(当初想定: 52,064.5kWh)	…CO ₂ 削減量	17.875t/CO ₂

■ 月別発電量



■ 地域貢献寄付金（定額200,000円）

令和5年度	200,000円	令和6年度	200,000円
令和7年度	200,000円		

本事業での最近の活用内容

① 出張科学実験教室（超低温の不思議な世界&リニア&超伝導体）



② 出張科学実験教室（モデルロケットを打ち上げよう）



③ 学校図書購入補助



活動を行っているうえでの困りごとや今後の展開について

①地域貢献負担金について

- ・前述のとおり、子どもたちを中心にした事業に活用しています。まちづくり委員会として使途目的が明確となっており、大変ありがたく感じております。

②困りごとや今後の展開について

- ・現状では、特に会計上や事業実施について困っていることはございません。今後、本事業を進めていく上で何か対応等で苦慮することが発生した場合には、あらためてご相談いたします。

会計報告 ※以下の会計については、事業専用の会計として管理しています。

■収入の部

前年度繰越金	0円	
今年度地域貢献寄付金	200,000円	4月30日受領
預金利息	0円	
合計	200,000円	

■支出の部

出張科学実験教室	100,000円	(青少年健全育成部事業)
学校図書購入補助	100,000円	
合計	200,000円	

■収支

収入の部 200,000円－支出の部 200,000円＝ 0円

認定第18号

川路公民館及び川路小学校

太陽光発電再生可能エネルギー活用事業

■事業者	川路まちづくり委員会
■協力事業者	株式会社 リックス
■発電設備	太陽光発電
■発電箇所	川路公民館、川路小学校
■太陽光発電容量	48.50 kW
■発電見込み量	53,350 kWh

▼申し出時点での事業計画

- ①川路へ帰ろう事業（川路出身の県外在住者に故郷の情報を提供する）
- ②里山管理事業（里山保全のための管理組合設立準備と協議）
- ③川路農園運営補助事業（川路農園の運営支援）
- ④未満児保育運営支援（おむすび保育園への支援）
- ⑤ホームページ充実（見やすくわかりやすいホームページ制作と内容更新）

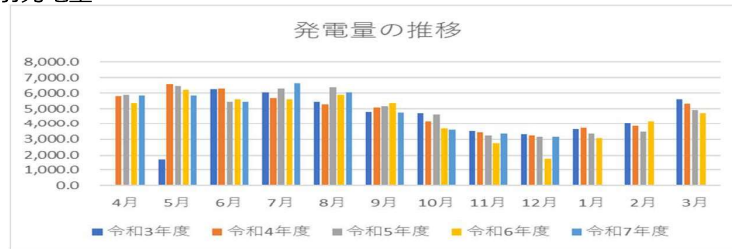
実績等

■ 発電開始日 川路小学校 令和3年 5月26日 川路公民館 令和3年 5月15日

■ 年別発電量及びCO₂削減量

令和5年度 58,283kWh (当初想定: 52,866kWh) … CO₂削減量 24.36t/CO₂
 令和6年度 54,176kWh (当初想定: 52,599kWh) … CO₂削減量 22.65t/CO₂
 令和7年度 44,649kWh (当初想定: 52,332kWh) … CO₂削減量 18.66t/CO₂

■ 月別発電量



※川路公民館は、R6.11下旬～R7.1下旬の間、外壁・屋根塗装のため発電なし

■ 地域貢献寄付金 (定額 170,000円)

令和4年度 170,000円 令和5年度 170,000円
 令和6年度 170,000円 令和7年度 170,000円

本事業での活動内容

川路へ帰ろう事業



川路公式Instagram「川路っていいとこだに」

里山保全事業

ナラ枯れ木多数あり



里山整備作業 2026.3 (予定)

保育園児に対する協力支援事業



保育園農業体験事業 2025.5.30 2025.9.

活動を行う上での困りごとや今後の展開について

- ①令和4年度以降、川路で生まれる子供が大きく減少していることを踏まえ、若い世帯の移住促進に取り組む。「川路へ帰ろうキャンペーン事業」の一環として、SNS（インスタグラム）活用による広告や川路のPRの実施。移住者の受け皿づくりとして、空き家、宅地造成可能な土地の情報収集と活用に向けた情報提供の充実が必要。
- ②里山整備は、保育園が活用している学友林についてナラ枯れによる落木の危険を防止するため整備を継続。
- ③ホームページは活発な投稿を引き続き継続するとともに、今後、後世に残したい川路の貴重な資料を整理し自由に閲覧可能な環境を整備したい。
- ④ハートヒル川路とは、「敬老会」「避難訓練」等に参加し交流を継続していく。
- ⑤保育園児の農業体験事業として毎年実施している田植え、稲刈り作業は農業振興会議と共にまちづくりとしても協力していく。

会計報告

※以下の会計については、「太陽光発電事業」としてまちづくり委員会会計に直結した形で独立して管理しています

■収入の部

前年度繰越金	0円
今年度地域貢献寄付金	170,000円（リックスより5月入金）
	110,052円（おひさま進歩より6月入金）
合計	280,052円

■支出の部

①川路へ帰ろうキャンペーン事業	60,000円（川路公式Instagramの更新手数料）
②里山整備事業	55,000円（3月実施予定の学友林整備に係る見込み額）
③川路農園運営補助事業	10,000円（畑の賃貸料等）
④まちづくりウェブサイト充実事業	60,000円（オペレーター委嘱料）
⑤ハートヒル川路交流事業	0円（敬老会補助等）
⑥川路保育園児米作り協力	0円（作業協力のため）
合計	185,000円（見込み額）

■収支

280,052（収入）－185,000（支出）＝95,052円（まちづくり委員会への戻し見込み額）

認定第19号

県地区公共施設太陽光発電再生可能エネルギー活用事業

■事業者 県地区まちづくり委員会

■協力事業者 株式会社リックス

■発電設備 太陽光発電

■発電箇所 県小学校第2体育館／県中学校武道館／県体育館

■太陽光発電容量 73.5kW

（県小学校第2体育館28.5kW／県中学校武道館28.5kW／県体育館16.5kW）

■発電見込み量 年間71,878kWh

申出時点での事業計画

- ①小中学校、公民館、地域及び家庭が一体となって県の子どもを育てる「かなえコミュニティスクール」の推進及び地育力向上の取り組みに活用【重点事業】
- ②県地区の活性化や自治を支えることを目的とした団体の助成やその事業の実施の支援に活用
- ③特色ある地域づくり、地域の活力アップに繋がる県の環境整備やブランド力向上に資することに活用
- ④指定避難施設である県小学校・中学校、応急避難施設である県体育館の防災力の更なる向上に活用

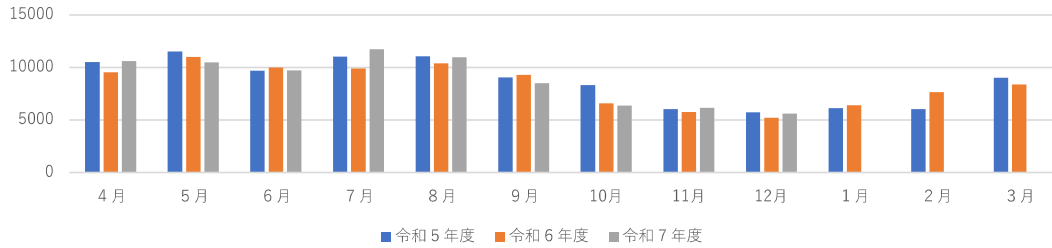
実績等

■ 発電開始日 鼎小学校第2体育館 令和3年4月20日 鼎中学校体育館 令和3年4月19日
鼎体育館 令和5年2月28日

■ 年別発電量及びCO₂削減量

令和5年度 104,121.4kWh (当初想定: 85,057.5kWh)
(鼎小39,567.8kWh、鼎中37,060.1kWh、鼎体育館27,493.5kWh) →CO₂削減量 43.5t/CO₂
令和6年度 99,997.6kWh (当初想定: 84,628.5kWh)
(鼎小38,560.5kWh、鼎中35,627.9kWh、鼎体育館25,809.2kWh) →CO₂削減量 41.8t/CO₂
令和7年度 80,146.8kWh (当初想定: 84,199.5kWh) 【令和8年1月末時点】
(鼎小30,756.3kWh、鼎中28,838.2kWh、鼎体育館20,552.3kWh) →CO₂削減量 33.5t/CO₂

■ 月別発電量



■ 地域貢献寄付金 (定額310,000円)

令和4年度	220,000円	令和5年度	220,000円
令和6年度	400,000円	令和7年度	310,000円

※鼎体育館の発電が本格稼働した令和5年度から年31万円の定額寄付のはずであったが、双方の誤認により令和6年度まで22万円の寄付が継続。令和6年度において、差額分の追加寄付があり補正。

本事業での最近の活用内容

① 景観まちづくりの推進～かなえを花でいっぱいプロジェクト～



② 地域資源を生かした環境教育と木育体験コーナー



③ 鼎小学校・鼎中学校・鼎公民館合同講演会



活動を行っているうえでの困りごとや今後の展開について

①「景観まちづくり」の推進

- ・ 県道青木東線沿線の看板規制等に係わる学習会・研修会
- ・ 「かなえを花でいっぱいプロジェクト」を推進するためのガーデニング講習会・ガーデニングコンテスト・オープンガーデン・実践の場としてのガーデニングづくり
- ・ ガーデニングを通じた仲間づくり

②地域資源を活かした環境教育

- ・ 木材への親しみや木の文化への理解を深めるための「木育体験と講座」の開催
- ・ 保育園児を対象にパネルシアター等を活用した環境教育
- ・ 夏休みを利用した親子等を対象とした環境教育 など

③「県学園構想」の実現に向けた取り組み

- ・ 県小・県中・県公民館合同講演会、県の子どもを語る会

会計報告 ※以下の会計については、事業専用の会計として管理しています。

■収入の部（まちづくり委員会一般会計）

前年度繰越金	770,050 円	【再生エネルギー基金特別会計から全額繰入】
今年度地域貢献寄付金	310,000 円	（株）リックスから4月30日に受領
預金利息	0 円	
合計	1,080,050 円	

■支出の部（地域振興部会 再エネ活用事業）

かなえを花でいっぱいプロジェクト	442,752 円
パネルシアター・木育関連経費	126,210 円
県小中合同PTA研修事業講演会費	20,000 円
合計	588,962 円（見込み）

■次年度への繰越額

収入の部 1,080,050 円－支出の部 588,962 円＝ 491,088 円（見込み）→特別会計へ繰入

認定第20号

龍江小学校太陽光発電再生可能エネルギー活用事業

- 事業者 龍江地域づくり委員会
会長 宮脇正博
- 協力事業者 エルコンパス イプサ
有限会社 ナカガワ龍峡店
- 発電設備 太陽光発電
- 発電箇所 飯田市立龍江小学校 北校舎
- 太陽光発電容量 27.5 kW
- 発電見込み量 年間 42,460 kWh



申出時点での事業計画

- ①第14号事業と共同して行う、地元食材を活用した郷土食の提供による域消域産の推進及び自然エネルギー及び環境教育に関する教材購入等に要する経費
- ②学校の緑化（花壇整備等）
- ③地域クラブ等の材料費補助や講師謝礼補助
- ④シャルルヴィル・メジエール市のノートルダム小学校との交流経費他

実績等

■発電開始日 令和3年8月19日

■年間発電量及びCO₂削減量

※中部電力排出係数(調整後) R5:0.433 R6:0.421 R7:0.411

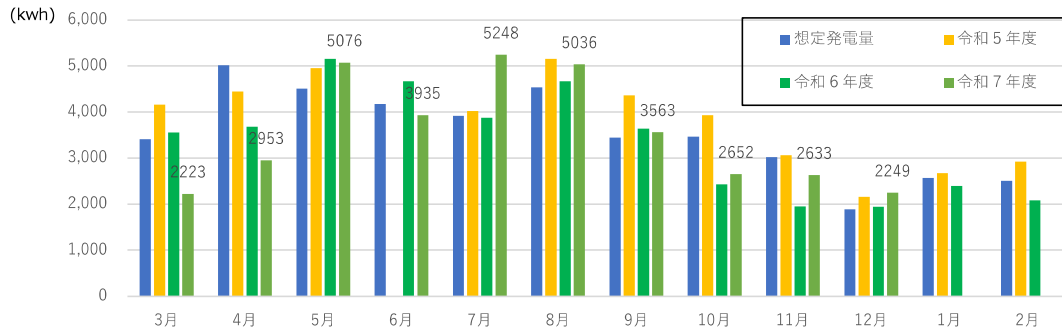
令和5年度41,846kWh(当初想定:42,460kWh)・・・CO₂削減量 18.12t/CO₂

令和6年度40,047kWh(当初想定:42,460kWh)・・・CO₂削減量 16.86t/CO₂

令和7年度35,568kWh(当初想定:42,460kWh)・・・CO₂削減量 14.62t/CO₂

※令和7年12月31日数値

■月別の想定発電量と発電実績(令和5年~令和7年12月実績)



■地域貢献寄付金(定率10%)

令和3年度 45,372円

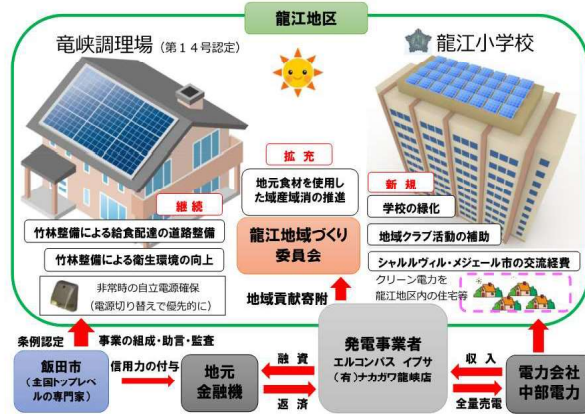
令和4年度 106,160円

令和5年度 96,220円

令和6年度 93,120円

令和7年度 93,000円 ※見込み

○本事業は、龍江地域づくり委員会で実施中の既存事業(第14号認定 竜峡調理場太陽光発電再生可能エネルギー活用事業)と一体的に、地域課題の解決に取り組んでいく。



<寄付金の使途>

<事業>

認定第14号事業

開始: R元年度~
場所: 竜峡調理場

認定第20号事業

開始: R3年度~
場所: 龍江小学校

地域課題
解決へ
一体的取組

【継続】

○給食配送路周辺の放置竹林の整備により配送路の安全を確保

【拡充】

○**域産域消による、食とエネルギーの地域循環の創出と環境教育の推進**
 ・地元農家から調達した食材が学校給食として供給されているが、地元小学生が栽培した食材も合わせて給食に提供することができ、地域循環を学ぶ学習の素材として活用できるようになる
 ・環境教育に関する図書等の購入経費としても活用する

【新規】

○**学校の緑化**
 ・花壇整備等、校内緑化の推進を図る
 ○**地域クラブ等の講師謝礼補助や教材費補助**
 ・伝統文化としての「天龍峡焼」「郷土料理」などのクラブ支援
 ○**シャルヴィル・メジエール市内小学校との交流促進**
 ・ノートルダム小学校児童へビデオレターを送るなど、コロナ禍の中で、遠くの友人を応援する取り組み

◆ 本事業での最近の活用内容

○学校りんご園の肥料やり、農薬散布、除草作業、剪定、摘果などの管理を地区内の果樹園経営者や有志が龍江小学校児童と一緒に収穫を含め1年間を通じて作業を実施しました。

○地域クラブ等の講師謝礼補助



◆ 活動を行っているうえでの困りごとや今後の展開について

①学校りんご園の管理を地区内の果樹園経営者や有志が行なっていますが、高齢化や担い手不足が課題となっている。

◆ 会計報告

■収入の部	前年度繰越金	90,696円					
	今年度地域貢献寄付金	93,120円	(4月 受取)				
	預金利息	765円					
	合計	184,581円					
■支出の部	(労務費) 病虫害防除、草刈り、摘果作業		} 141,019円				
	(消耗品) 肥料、ガソリン代、エンジンオイル、飲み物						
	地域クラブ等の講師謝礼	30,000円					
	合計	171,019円					
■収支	収入の部	184,581円	-	支出の部	171,019円	=	13,562円

認定第21号

竜丘小学校太陽光発電再生可能エネルギー活用事業

- 事業者 竜丘地域自治会
- 協力事業者 株式会社リックス
- 発電設備 太陽光発電
- 発電箇所 飯田市立竜丘小学校
- 太陽光発電容量 27.74 kW
- 発電見込み量 年間 30,514 kWh

申出時点での事業計画

- ①飯田市環境美化重点区域として指定を受けた天竜川鷺流峡及び時又中村線（源氏ヶ滝）エリアの不法投棄対策
- ②天竜川鷺流峡復活プロジェクトと竜丘小学校児童とが行う竹灯籠づくりやメンマづくりなど地域資源たる竹の活用をベースにした環境教育

実績等

■ 発電開始日 令和4年2月12日

■ 年別発電量及びCO₂削減量（直近3年間）

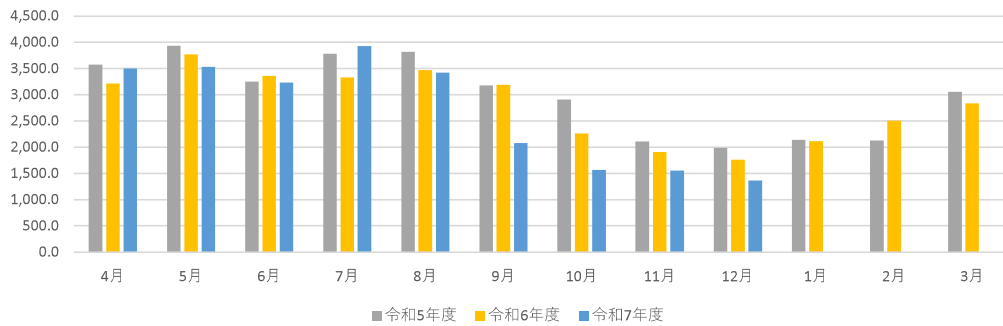
令和5年度 35,873Wh（当初想定：30,209kWh）・・・CO₂削減量 15.00t/CO₂

令和6年度 33,725Wh（当初想定：30,056kWh）・・・CO₂削減量 14.10t/CO₂

令和7年度 24,179Wh（当初想定：29,904kWh）・・・CO₂削減量 10.10t/CO₂

※令和7年度は令和8年1月までの数値

■ 月別発電量（令和5年4月～令和8年1月）



■ 地域貢献寄付金

令和5年度 105,000円

令和6年度 105,000円

令和7年度 105,000円

本事業での最近の活用内容

【不法投棄対策】 放置竹林の伐採



【環境教育】 いなちく(メンマ)のラベルづくり



活動を行っているうえでの困りごとや今後の展開について

①環境美化重点区域の放置竹林等の整備を拡大し、ゴミを捨てにくい環境づくりを目指します。

②身近にある竹の利活用について、竜丘小学校の児童が学習する機会を寄付金により一層充実します。

会計報告 ※以下の会計については、事業専用の会計として管理しています。

前年度繰越金	0円
今年度地域貢献寄付金	105,000円
預金利息	0円
合計	105,000円

■支出の部

天竜川鷺流峡復活プロジェクト活動費	35,000円
源氏ヶ滝環境美化プロジェクト活動費	35,000円
竜丘小学校環境教育費用（天竜川鷺流峡復活PJ）	35,000円

合計 105,000円

■収支

収入の部 105,000円 - 支出の部 105,000円 = 0円

認定第22号

野底川小水力発電再生可能エネルギー活用事業

- 事業者 上郷地域まちづくり委員会
- 協力事業者 野底川市民発電株式会社（おひさま進歩エネルギー）
- 発電設備 小水力発電（もりデン こりき君）
- 発電箇所 野底川
- 発電容量 341.5kW（最大受電電力 340kW）（発電開始～R7.9.11）
390 kW（最大受電電力 387kW）（R7.9.12～）
- 発電見込み量 年間2,120,000kWh（発電開始～R7.9.11）
年間2,190,000kWh（R7.9.12～）

申出時点での事業計画

①野底山の森林活用事業：森林・木工体験、ガイドによる森林散策など、森林空間を活かした事業の実施。

②野底山森林公園の整備事業：園内施設、遊歩道（森林公園内、風越山登山ルート）、キャンプ場の拡張、ピクニック広場等の整備。

③野底山森林公園の活用事業：紅葉の郷としてPRする他、発電所を活用した環境学習（自然エネルギー・水生生物観察・釣り体験）を実施し地域の魅力の向上につなげる。

実績等

■FIT発電開始日 令和5年9月8日

■年別発電量及びCO2削減量（令和5年度は検針月で10月から3月までの発電量）

※検針月は実発電期間の翌月

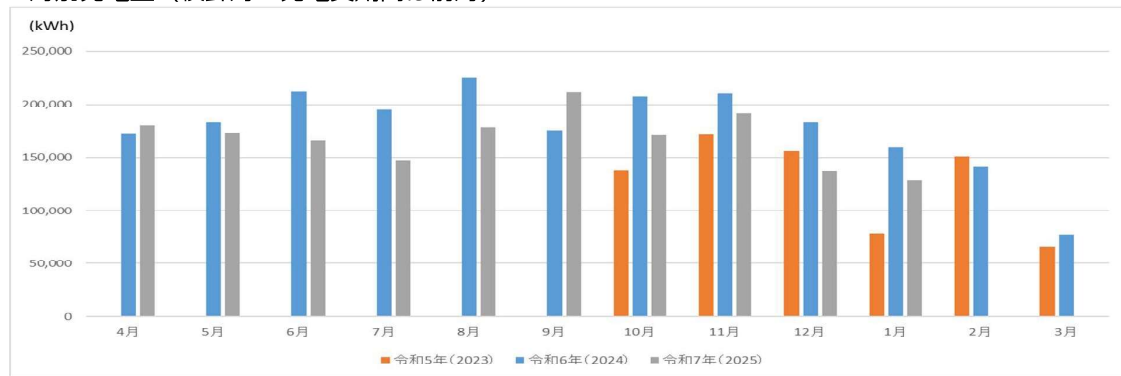
令和5年度 761,440kWh（当初想定：935,221kWh）・・・CO2削減量 329.7t-CO2
 <夏場・冬場の降水量減、機器調整による一時停止(12月：検針月1月)あり>

令和6年度 2,143,494kWh（当初想定：2,120,000kWh）・・・CO2削減量 941.0t-CO2

令和7年度 1,686,933kWh（想定：1,915,321kWh）・・・CO2削減量 693.3t-CO2

<※検針月で令和7年4月から令和8年1月>

■月別発電量（検針月：発電実期間は前月）



■地域貢献寄付金（定率1%+税）

令和6年度：242,899円

令和7年度：683,774円

※年度は支払い年度を示す。

本事業での最近の活用内容

①上郷小学校5年生環境学習

おひさま社員が出前授業



バスの中から発電所見学（熊対策）



②発電所建屋周囲の植栽

ヤマツツジ植栽風景



参加者集合写真



活動を行っているうえでの困りごとや今後の展開について

①公園の維持管理を担当する部門の高齢化と担い手の確保

- ・野底山森林公園の維持管理業務を行っているモーリーの森応援隊の隊員の高齢化に伴い、作業への参加人員が減少しているため、業務委託など検討を進める。
- ・隊員確保のため、入隊特典や入隊しやすい雰囲気作り、上郷居住者に限らない隊員の募集など検討を進める。
- ・小中高生や大学生等が担い手として活動できる場づくりと、活動を通じたつながり人口の創出による担い手確保の研究。

②環境学習の継続

- ・上郷小学校5年生を対象とした出前授業、発電所見学を実施。

③野底山森林公園への集客を図るための取組

- ・都市との交流を見据え森林空間を活かした取組を進める。

会計報告

■収入の部

前年度繰越金	69,399 円	2025年5月30日受領
今年度地域貢献寄付金	683,774 円	
預金利息	109 円	
合計	753,282 円	

■支出の部

貸切バス代	145,530 円	(環境学習事業)
学習会資料代	76,550 円	(環境学習事業)
公園草刈り代他	246,200 円	(野底山森林公園整備事業)
合計	468,280 円	

■収支

収入の部 753,282 円 — 支出の部 468,280 円 = 285,002 円

認定第23号

南信濃地区公共施設太陽光発電再生可能エネルギー活用事業

■事業者 南信濃地区まちづくり委員会

■協力事業者 株式会社リックス

■発電設備 太陽光発電

■発電箇所 和田小学校・遠山中学校・南信濃公民館

■太陽光発電容量 和田小学校 22.0kW
遠山中学校 22.0kW
南信濃公民館 16.5kW

■発電見込み量 年間 83,785.9kWh

申出時点での事業計画

- ①令和5年度「やまざと親子留学」のスタート、留学家族への支援
- ②移住定住策の推進
- ③留学希望者への情報発信



実績等

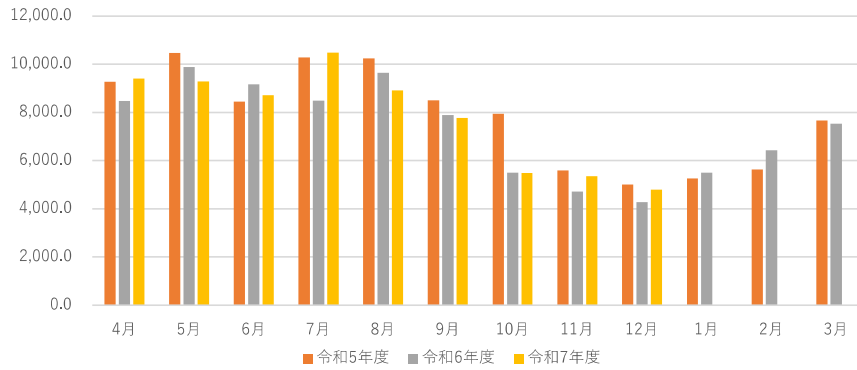
■ 発電開始日 和田小学校：R4.4.18 遠山中学校：R4.4.30 南信濃公民館：R4.6.13

■ 年別発電量及びCO2削減量（直近3年間）

令和5年度 94,315.2 kWh（当初想定：85,491.4 kWh）・・・CO2削減量 39,424t/CO2
 令和6年度 87,502.0 kWh（当初想定：85,061.8 kWh）・・・CO2削減量 36,576t/CO2
 令和7年度 68,030.1 kWh（当初想定：84,632.2 kWh）・・・CO2削減量 29,357t/CO2

※R7年度の発電量及びCO2削減量はR7.4月からR7.12月までの累積

■ 月別発電量

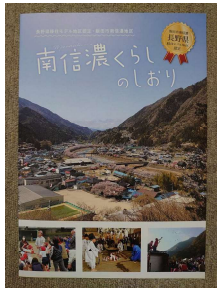


■ 地域貢献寄付金（定額210,000円）

令和5年度 210,000円 令和6年度 210,000円 令和7年度 210,000円

本事業での最近の活用内容

① 移住者向け暮らしのしおりを活用した移住者相談の実施



地域の気候・商店など移住者が事前に必要とする情報を「暮らしのしおり」としてまとめた。

② 1500委員会活動



地域・行政・小中学校、保育園など関係する皆さんと定期的に情報共有を図り事業展開を図った。

③ 親子留学事業・保育園ショート留学事業



- ・短期的に地域の暮らしの体験を行う保育園ショート留学事業を実施。本年度は11件の留学家庭を受入れた。
- ・ショート留学事業から親子留学事業へつながる事例も生まれ、令和6年度は2組の親子留学家庭を受入れを実施。

活動を行っているうえでの困りごとや今後の展開について

- ①やまざと親子留学・保育園ショート留学
 - ・短期的にこの地域の暮らしを体験していただく保育園ショート留学事業を実施。(R6:13件・R7:11件) ショート留学からやまざと親子留学につながる事業展開が図れた。
 - ・現地見学会やオンライン説明会などを開催し、潜在的なニーズはあることはわかってきているものの効果的な発信が課題。
 - ・全国的に留学事業が行われているため、結いターン移住定住推進課と連携した効果的な情報発信を行っていく。
- ②移住者向け住宅の確保
 - ・空き家ストックが進まない。空き家を活用できる状態にするためには、費用負担がネックになってくる。短期的なニーズへの対応する住宅と本気で移住を考えている方に対する住宅の対応は異なってくる。このため、短期的なニーズに対してはお試し住宅で対応しながら、長期的なニーズに対する空き家の掘り起こしを地域で行っていくことが必要。
- ③学校の再編に伴う扱いについて
 - 和田小学校が上村小学校に令和9年度より再編される。和田小学校の財産の取り扱いについての方向性を早めに出して欲しい。これにより協定内容の変更や地域貢献寄付金の額に変動があるかが不安である。

会計報告 (R6年度) ※移住定住を推進する「南信濃1500委員会」の活動費として、同委員会の専用会計で管理。

■収入の部			
前年度繰越金	333,049円		
地域貢献寄付金	210,000円	R6年度分	
補助金等	115,000円	まちづくり委員会	
その他収入	219円	貯金利息	4円
合計	658,268円		
■支出の部			
消耗品費	10,956円		
事業費	83,796円		
事務費	35,415円		
役務費	2,643円		
合計	132,810円		
■収支			
収入の部	658,268円	－	支出の部 132,810円 = 525,458円

認定第24号

座光寺地区公共施設太陽光発電再生可能エネルギー活用事業

- 事業者 座光寺地域自治会
- 協力事業者 株式会社 リックス
- 発電設備 太陽光発電
- 発電箇所 座光寺小学校・座光寺公民館
- 太陽光発電容量 49.64kW
- 発電見込み量 年間54,058kWh

申出時点での事業計画

- ①歴史資料の整備、学習活動
- ②渋谷区等との交流事業



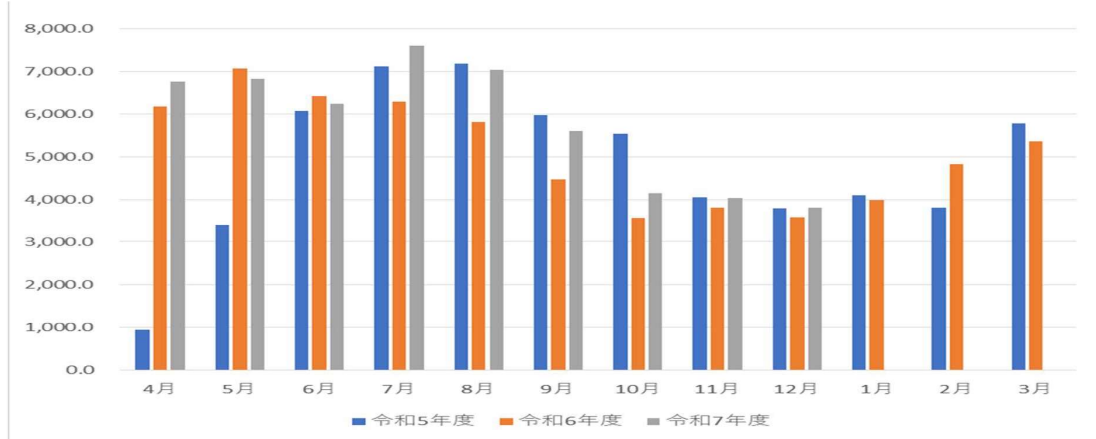
実績等

■ 発電開始日 令和5年4月19日（公民館）・5月30日（小学校）

■ 年別発電量及びCO₂削減量

令和5年度 57,814kWh（当初想定：54,604kWh）・・・CO₂削減量 24,166t/CO₂
 令和6年度 61,401kWh（当初想定：54,331kWh）・・・CO₂削減量 25,666t/CO₂
 令和7年度 52,111kWh（当初想定：54,058kWh）・・・CO₂削減量 21,783t/CO₂
 ※R7年度は4～12月実績

■ 月別発電量



■ 地域貢献寄付金（定額140,000円）

令和5年度 140,000円、令和6年度 140,000円、令和7年度 140,000円

本事業での最近の活用内容

①-1 古地図修復事業(旧座光寺村と地租改正)



①-2 ござんが歴史交流館オープンに向けて（準備、視察研修など）



② 渋谷区との交流（渋谷区植樹のりんご手入れ、鍋島松濤公園の桜など）



10/20座光寺大門パノラマファームにある渋谷リンゴパークでの焼き肉交流会

渋谷区
 (株)渋谷サービス公社
 穂田キャットストリート商店街など

活動を行っているうえでの困りごとや今後の展開について

①歴史史料の整備、学習活動

- ・座光寺は、自然・歴史・文化が豊富であることを子どもたちに伝えていきたい。
- ・令和9年春「ごんが歴史交流館」のオープンに向け、座光寺地域自治会（まちづくり委員会）が業務委託を受ける準備を進め、施設の適切な管理と観光の拠点としての有効利活用を目指す。運営組織(法人格化など)や担い手育成など課題。

②渋谷区等との交流事業

- ・渋谷区鍋島松濤公園のしだれ桜、渋谷区数か所に植樹されているりんごの木の手入れ等継続。穂田キャットストリート商店会、町会などの住民交流も継続していく。
- ・渋谷区は令和8年度「飯田市都市交流事業10/10-11」実施を予算化、継続性確保。
- ・座光寺の子どもが渋谷区にある座光寺のしだれ桜やりんごの木をみる機会をつくりたい。
- ・(株)渋谷サービス公社、(株)南信州観光公社と連携し、座光寺に益があるような事業の研究をしていきたい。再エネ審査委員に知見やアドバイスがあったら御教示願いたい。

会計報告 ※以下の会計については、事業専用の会計として管理しています。

■収入の部

前年度繰越金	0円	
今年度地域貢献寄付金	140,000円	4月30日受領
預金利息	0円	
合計	140,000円	

■支出の部

麻績史料館の整備・古地図修復	35,000円	(155,100円のうち)	(歴史史料の整備、学習活動)
史跡ガイド事業・先進地視察等	35,000円	(122,599円のうち)	(歴史史料の整備、学習活動)
渋谷区長・穂田商店会交流	70,000円	(313,753円のうち)	(渋谷区等との交流事業)
合計	140,000円		

■収支

収入の部 140,000円 - 支出の部 140,000円 = 0円

認定第25号

持続可能な伊賀良の庄づくりプロジェクト2024

■事業者 伊賀良まちづくり協議会

■協力事業者 株式会社リックス

■発電設備 太陽光発電

■発電箇所 伊賀良小学校、伊賀良公民館

■太陽光発電容量 49.64 kW (小学校28.47kW+公民館21.17kW)

申出時点での事業計画

① 沢城湖を含む西部山麓線一帯の環境整備及び設備拡充

- ・沢城湖及び展望台周辺、佐倉公園、梅ヶ久保かたくりの里、信濃遊歩道の草刈り等環境整備
- ・案内板等の設備整備

② 公共施設等の美化整備

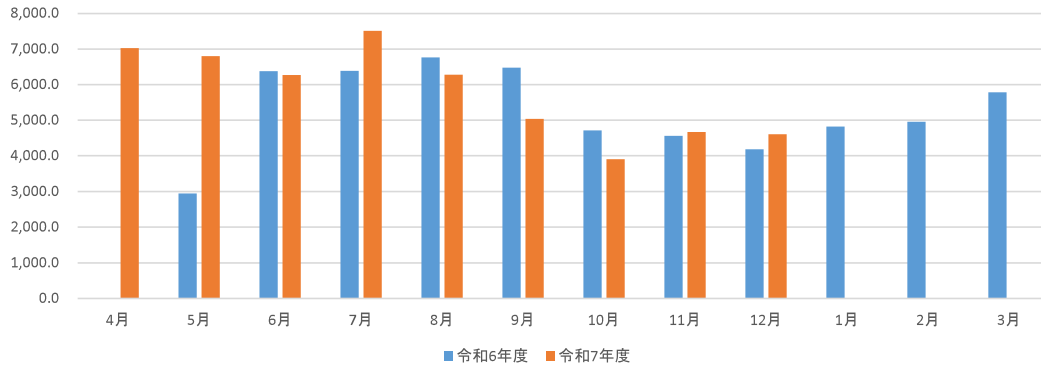
- ・伊賀良小学校中庭の花壇への、子供たちによる「伊賀良の花」の植栽
- ・公共施設等への、地域住民による「伊賀良の花」の植栽

実績等

- 発電開始日 伊賀良小学校 令和6年5月10日
伊賀良公民館 令和6年5月17日

- 年別発電量及びCO₂削減量（令和6年5月発電開始～令和7年12月／直近3年間）
令和6年度 57,970.0kWh（当初想定：54,604.0kWh/年間）・・・CO₂削減量 24.231t/CO₂
令和7年度 52,093.8kWh（当初想定：54,331.0kWh/年間）・・・CO₂削減量 21.775t/CO₂

- 月別発電量（令和6年5月発電開始～令和7年12月分まで）



- 地域貢献寄付金（定額150,000円）
令和6年度 150,000円 令和7年度 150,000円

本事業での最近の活用内容

① 沢城湖を含む西部山麓線一帯の環境整備及び設備拡充

- ・ 信濃路自然歩道の案内板等の現況を確認するため、北方区域の踏査を行いました。



② 公共施設等の美化整備

- ・ 伊賀良小学校の児童が、昇降口のロビーからを眺められるスペースを「伊賀良の花」の花壇として整備するため、生垣を伐採して整地する作業を行いました。



活動を行っているうえでの困りごとや今後の展開について

①沢城湖を含む西部山麓線一帯の環境整備及び設備拡充

- ・一帯は広大で、手入れが行き届いた状態で維持することは困難ですが、魅力的で訪れたい場所になるよう、環境整備作業を継続していく必要があります。
- ・信濃路自然歩道の大瀬木区域の踏査を行って案内板等を確認し、来訪者が散策を楽しめるような設備を計画的に整備をしていく必要があります。

②公共施設等の美化整備

- ・「伊賀良の花」の手入れを通じた心のつながりを、児童から家庭・地域へ広がっていくため、伊賀良小学校中庭の整地した区画に、令和8年度は「キキョウ」を植え付けます。定着状況を見ながら次の花の植栽を計画的に進めます。
- ・児童と大人と一緒に手入れを続けていく仕組みを、作業をやりながら作り上げていく必要があります。

会計報告 ※以下の会計については、事業専用の会計として管理しています。

■収入の部

前年度繰越金	150,002 円	
今年度地域貢献寄付金	150,000 円	4月30日受領
預金利息	196 円	
合計	300,198 円	

■支出の部

花壇整備機材借用等謝礼	13,000 円	(「伊賀良の花」植栽事業)
合計	13,000 円	

■収支

収入の部 300,198 円 - 支出の部 13,000 円 = 287,198 円 (R8.2.12時点)

認定第26号

上村地区公共施設

太陽光発電再生可能エネルギー活用事業

■事業者 上村まちづくり委員会

■協力事業者 株式会社 リックス

■発電設備 太陽光発電

■発電箇所 上村小学校 上村公民館

■太陽光発電容量 46.75 kW

■発電見込み量 年間51,425 kWh

申出時点での事業計画

- ①自然保育推進のための環境整備、ガイド養成のための学習研修
- ②コミュニティスクールの推進、小規模特認校支援の地域連携学習
- ③遠山郷自然体験プログラムの構築と実践及び参加者と地域の交流拠点整備

実績等

■ 発電開始日 令和6年9月21日

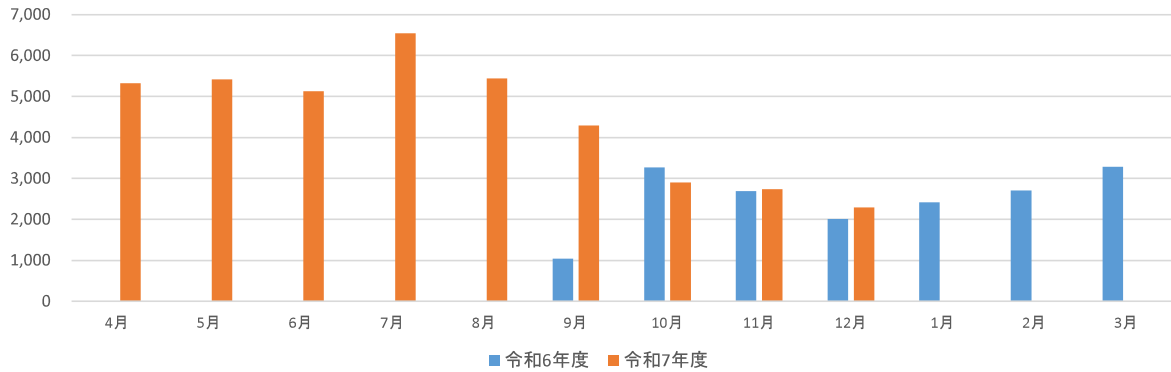
■ 年別発電量及びCO₂削減量

令和6年度17,404.5kWh (当初想定: 51,425.0kWh) …CO₂削減量7.275t/CO₂

令和7年度40,078.9kWh (当初想定: 51,167.9kWh) …CO₂削減量16.753t/CO₂

※令和6年度は9月～3月実績。令和7年度は4～12月実績

■ 月別発電量



■ 地域貢献寄付金 (定額120,000円)

令和6年度 120,000円

令和7年度 120,000円

本事業での最近の活用内容

事業計画を包含した「上村つなぐ・育むプロジェクト」を令和7年度に新設し、保育園ショート留学（都市部から親子で保育園を利用して滞在）に新規に取り組みながら、下記事業を実施しました。



7.16保育園地域参観



保育園裏山整備 (年3回)



プロジェクト会議
(保育園ショート留学)



7.26小学校夏休みキャンプ体験



どんぐり隊企画
お茶栽培体験 (大学生交流)



どんぐり隊企画 星空観察会

活動を行っているうえでの困りごとや今後の展開について

①寄付財源活用によるプロジェクト体制で事業効果を高める

人口約300人の当地区最重要課題である移住定住や関係人口の創出を目標に据えて、関係団体の活動の相乗効果を高める形が構築でき、都心部から地元保育園と暮らしを親子で体験するショート留学や、大学生の地域体験企画などの取組が進んだ。

②移住者向け住宅確保及びP J活動拠点の整備について

地域の滞在用で確保したお試し住宅1棟を整備して、ショート留学等の新規事業に取り組み、実績を検証して経験値を積みかさねながら、移住につなげていきたい考えで空き家調査に取り組み始めているが、物件確保や活動拠点の整備について、経費を含めて検討が必要

会計報告 ※以下の会計は、「つなぐ・育むP J事業専用の会計として管理しています。

■収入の部

前年度繰越金	120,000円	
今年度地域貢献寄付金	120,000円	5月2日受領
補助金等	200,000円	まちづくり負担分
合計	440,000円	

■支出の部

事業消耗品購入	71,659円
指導者講師謝礼	68,000円
施設修繕費	18,590円
通信運搬費	540円
ホームページ管理委託料	13,200円
ショート留学事業費	40,000円
合計	211,989円

■収支

収入の部440,000円－支出の部211,989円＝228,011円

認定第27号

上久堅小学校太陽光発電再生可能エネルギー活用事業

■事業者 上久堅地区まちづくり委員会

■協力事業者 株式会社 リックス

■発電設備 太陽光発電

■発電箇所 上久堅小学校

■太陽光発電容量 27.88 kwh

■発電見込み量 年間 30,514.7kwh

申出時点での事業計画

(1) 観光客を誘致する魅力的な観光拠点の整備

①公園内の支障木伐採、遊歩道の整備また資料館周辺の除草作業の実施

②公園内にある老朽化したベンチの改修

③神之峰城址公園までのアクセス道路の両脇にある放置竹林の伐採

(2) 多世代の協働による地域活性化に向けた熱意と創意の共有

上久堅小学校児童の皆さんと共同で神之峰城址公園までのアクセス道路へつつじやさつき等の植樹を行い、フラワーロードとして整備

実績等

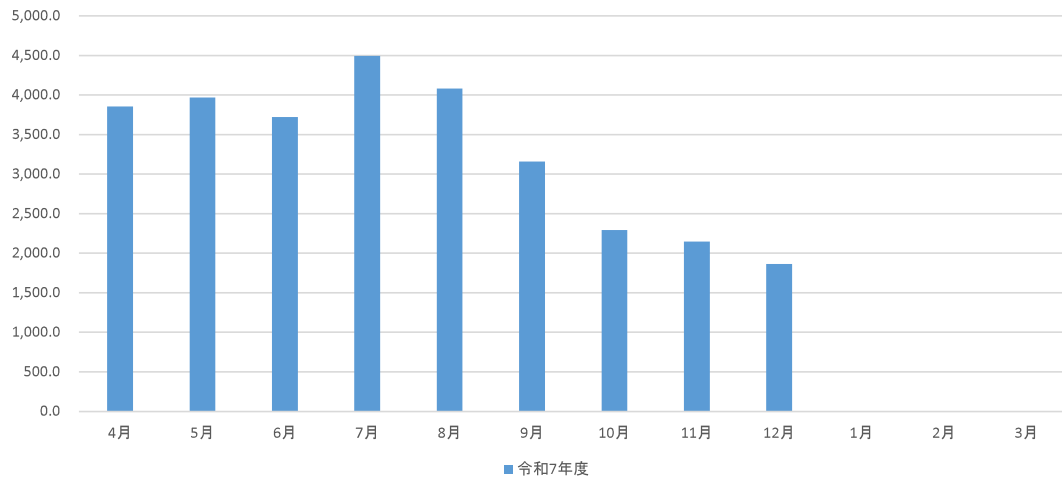
■ 発電開始日 令和7年3月28日

■ 年別発電量及びCO₂削減量

令和7年度29,572.9kWh (当初想定: 30,514.7kWh) …CO₂削減量 12.36t/CO₂

※令和7年12月31日数値

■ 月別発電量



■ 地域貢献寄付金 (定額 70,000円)

令和7年度 70,000円 ※見込み

本事業での最近の活用内容

① 上久堅地区基本構想・基本計画 策定



平成31年(2019)4月～施行

- ・美しい眺望が望める公園の整備検討
- ・神之峰城址公園の利活用と維持管理の協力、支援
- ・神之峰一帯の観光開発事業についても検討・開発

② 上記計画に基づく主な活動



上久堅小学校児童との植樹



撤去した支障木

- ・令和3年度にまちづくり委員会の特別委員会として、上久堅観光協会事業を引き継ぐと共に、観光資源の活用及び観光関係団体の連携強化を図るなかで、上久堅地区の観光振興に寄与することを目的とする、「観光振興特別委員会」を設置し、上久堅地区の観光拠点の整備や観光資源を生かした事業を行っている
- ・観光拠点である神之峰城址公園の支障木撤去、資料館周辺の除草作業、駐車場整備、上久堅小学校児童の皆さんと共同で神之峰城址公園までのアクセス道路へつつじやさつき等の植樹を行った。

活動を行っているうえでの困りごとや今後の展開について

①神之峰城址公園およびその周辺整備

神之峰支障木撤去、神之峰城址公園整備、道中の竹林整備を引き続き行い、課題となっている遊歩道整備、上水道整備、トイレ整備など、令和8年度においては、令和9年～10年に向けて内容を検討する。

会計報告

※以下の会計については、神之峰整備を含む上久堅の観光拠点の整備、活用事業の専用会計として管理しています。（令和8年2月27日現在）

■収入の部

前年度繰越金	1,190,736円	
まちづくり繰入金他	690,000円	
今年度地域貢献寄付金	70,000円	令和7年5月7日 受領
委託料	370,000円	
預金利息	2,943円	
合計	2,323,679円	

■支出の部

交付金	55,000円	
事業費	1,005,140円	うち神之峰整備費 301,600円
委託料	270,000円	
需用費	27,321円	
合計	1,357,461円	

■収支

収入の部 2,323,679円 — 支出の部 1,357,461円 = 966,218円